

第3回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園 実績報告書

手話パフォーマンス甲子園実行委員会



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



目次

開催概要.....	03	チーム演技.....	14
大会スケジュール.....	04	大会の様子.....	19
主催者あいさつ.....	05	バリアフリー対策.....	20
おことば.....	06	公式グッズ販売.....	21
来賓あいさつ.....	07	会場の様子.....	22
選手宣誓・優勝旗返還.....	08	交流会.....	24
出場チーム.....	09	予選審査会.....	26
表彰結果.....	10	広報・誘致.....	28
表彰内容.....	11	大会ダイジェスト番組.....	30
出演者紹介.....	12	手話パフォーマンス甲子園実行委員会・・・	31

会場となった倉吉未来中心



開催概要

●目的

ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話を身近なものとして理解してもらうとともに、手話とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を鳥取県で開催する。

●日時

平成28年9月25日(日) 9時30分～16時30分

●会場

倉吉未来中心(鳥取県倉吉市駄経寺212-5)

●来場者

約2,000人(サテライト会場含む)

●主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

●共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

●特別協賛

日本財団

●特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

●出場チーム

20チーム(21校)

※平成28年5月9日(月)から6月30日(木)まで参加チームを募集したところ、全国30都道府県から、61チーム(65校)の参加申込みがあった。8月9日(火)に審査員4名でビデオ視聴による予選審査会を開催し、各地域ブロック代表6チーム、上を除く上位13チーム及び開催地(鳥取県)1チームの計20チームを選出した。

●皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席いただき、おことばを賜った。



本大会には、佳子内親王殿下に御臨席いただきました。

大会スケジュール

●スケジュール

9月25日(日)	
時 刻	内 容
9:30～	開会式 ・主催者あいさつ ・おことば ・来賓あいさつ ・出場チーム紹介 ・優勝旗返還 ・選手宣誓 - 審査員紹介 - 審査基準説明 
10:10～	パフォーマンス(前半) 
12:00～	昼休憩
12:50～	パフォーマンス(後半) 
15:15～	ゲストパフォーマー「岐阜ろう劇団いぶき」
15:50～	審査発表／表彰式 ・審査員特別賞 ・第3位 ・準優勝 ・優勝 (全日本ろうあ連盟賞・日本財団賞) ・審査員長講評 ・閉会あいさつ 
16:30	閉会

●鳥取県知事あいさつ

鳥取県知事 平井 伸治

みなさん、こんにちは。本日は、佳子内親王殿下の御臨席を仰ぎ、ここ倉吉未来中心において、第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を開催することができたことは、私ども鳥取県民にとって無上の喜びとするところです。また、全日本ろうあ連盟の長谷川副理事長様、日本財団の尾形理事長様、さらに鳥取県聴覚障害者協会の下垣理事長様をはじめ、数多くの方々からご支援を頂きましたことに対し、心より感謝申し上げます。

予選参加総数61チームという中、大変な激戦を勝ち抜かれまして、20のチームが本日参加をすることができました。心からお祝いを申し上げます。

本年の4月に障害者差別解消法が施行されました。しかし、法律が作られたからといって、それが目的ではありません。スタートなのです。みなさんと一緒に行動することが大切だと思います。

鳥取県では、全国に先駆け「あいサポート運動」をはじめました。『障がいを知り共に生きる、そのためにみんなみんな揃って行動しよう』という運動が全国に、そして海外へと広がりました。また、平成25年には、全国で初めて手話言語条例が鳥取県で制定されました。これも全国へ広がりました。

ここ鳥取県には、大山をはじめ素晴らしい山々がたくさんあります。日本海の雄大な景色が広がっています。大自然が豊富な土地なのです。温泉もたくさんあります。例えば、鳥取県中部地区には三朝温泉や東郷温泉、中には羽合温泉というのもあります。「ちょっと、ハワイに行ってくるね。」これは鳥取県では当たり前のことなのです。また最近では、ポケモンGOが人気です。鳥取では、鳥取砂丘におきまして「スナホゲーム開放区」を認定しました。

これは、砂丘だけではなくありません。例えば、倉吉市の街並みや境港市にある水木しげるロード、こうした所でもスナホゲームを楽しむことができます。ぜひ、みなさんには鳥取県でポケモンGOを楽しんでいただくとともに、素晴らしいお土産の数々や、また忘れがたい思い出・大



切な友達、そういうものをゲットしていただいて、「もうけもんGO」をやっていただきたいと思います。

また、鳥取県には、コナンの町もあります。鳥取県北栄町出身の青山剛昌先生が「名探偵コナン」を書きました。その原画などが展示してあります。とても楽しいところです。コナン君の決め台詞は、「真実はいつも1つ!」です。私たちの真実は、「障がいを知り共に生きる」事です。

『若人が力を合はせ創りだす 舞台の上から 思ひ伝はる』今年の歌会始の時に、佳子内親王殿下がお詠みになりました歌です。高校生のみなさんのパフォーマンスが全国を動かします。手話に対する理解。そして、障がいを知り共に生きるという事。これが、全国に広がります。コナン君が、難しい事件を解決するように、みなさんも困難を乗り越えて、優勝を目指して頑張ってください。鳥取県民が、そしてコナン君も蘭ちゃんも、応援しています。みなさんの素晴らしい挑戦がこの国を変えるでしょう。みなさんの力で手話を広める、そのために頑張ってください。

結びに、佳子内親王殿下のいやさかと、お集まりのみなさんの御健勝を祈念申し上げまして、私の言葉とします。本日は、本当にありがとうございました。

●佳子内親王殿下おことば

本日、第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園が開催され、皆様にお会いできましたことを大変うれしく思います。

平成25年に鳥取県では、全国で初めての手話言語条例が制定されました。そして、その後も全国各地で手話の普及に向けた様々な取り組みが行われています。このような活動に力を尽くしてこられた関係者の皆様に、心より敬意を表します。

この大会は、3回目を迎えました。私は、第1回の大会から続けて出席しております。毎回、全国から集まった高校生が、熱意をもって舞台を作り上げていく姿に深い感銘を受けています。本日出場される皆様も、日々熱心に練習を積み重ねて来られたと思います。仲間や先生方とともに、目標に向かって励む貴重な時間を過ごすことが出来たのではないのでしょうか。このような体験は、高校時代の大切な宝物になると思います。そして、これから行われる手話パフォーマンスが、皆様の努力の集大成となることを期待しております。

最後に、この大会を通して聴覚に障がいのある方々と、大切な言語である手話に対する理解が一層深まるとともに、この大会が皆様にとって素晴らしい思い出となることを願い、開会式によせることばといたします。



●全日本ろうあ連盟理事長 あいさつ

一般財団法人
全日本ろうあ連盟理事長
石野 富志三郎
いしの ともじ さぶろう

代読 副理事長
長谷川 芳弘
はせがわ よしひろ



全国の皆様、おはようございます。

本日、秋篠宮佳子内親王殿下のご臨席のもとに「第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が盛大に開催されますことに、心よりお祝い申し上げます。

ここ鳥取県が全国で初めて制定した手話言語条例は、全国各地に大きな影響を与え、現在50を超える自治体で制定されています。平井鳥取県知事におかれましては、6月に発足した全国手話言語市区長会の顧問や7月に発足した手話を広める知事の会の会長も担っていただいております。この手話パフォーマンス甲子園の開催も含め、鳥取県が率先して手話言語の普及に取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。

今日の本大会に出場するチームの中には障害のある仲間とともにステージに立つチームもあります。練習を積み重ねてきた中で、手話でコミュニケーションしたり、アイコンタクトで音のタイミングを伝えあったり、自然とお互いがベストな方法を生み出すことができたのではないのでしょうか。今日は、自分たちの思いや気持ちを惜しみなくパフォーマンスで表現してください。

今年の4月から障害者差別解消法という法律がスタートしました。この法律は、障害者が受ける差別をなくし、障害のあるなしにかかわらず、だれもが住みやすい社会を作ることが目的です。あらゆる場面に障害のある人ない人がいて、お互いが気遣うことなく自然と手を差し伸べることができる、そのような社会への第一歩と言えます。この大会に参加する皆さんはその一歩を踏み出しています。皆さんが新しい社会の一員として活躍されることを楽しみにしております。

最後になりますが、本大会の主催であります手話パフォーマンス甲子園実行委員会をはじめ鳥取県、鳥取県聴覚障害者協会そして日本財団の今後益々の御発展と、出場者の皆さんの健闘を祈り、私の挨拶といたします。

●日本財団理事長あいさつ

日本財団理事長
尾形 武寿
おがた たけじゅ



【手話でご挨拶いただきました】

みなさん、こんにちは。

手話パフォーマンス甲子園は、今年で3回目です。昨年に引き続き、佳子内親王殿下の御臨席を頂き、開催することができました。

日本財団は、手話は言語ということをとくさんの人々に理解してもらうために、努力しております。みなさんが楽しく生き生きと演技をすることが、手話の素晴らしさを日本中に発信することになります。一年間、今日のこの日を目指して頑張ってきたと思います。みなさんの演技を心から楽しみにしております。みなさん、頑張って下さい。

日本財団は、手話を広め、そしてあらゆる人達、障がいのある人もない人も、お年寄りも若者たちも、様々な人達が普通に暮らせる社会、そうした社会の実現を目指して、努力をしまっている所存です。

みなさん、がんばってください。期待しています。ありがとうございました。



選手宣誓

米子高等学校(鳥取県) 田中 幸喜

宣誓。

私達は全国で初めて制定された「手話言語条例」の理念に基づき、ろう者と聞こえる人がお互いを理解し共に生きる社会の創造に向けて、あいサポート運動発祥の地であるこの鳥取県に全国から集結いたしました。

リオのパラリンピックに出場した障がいのある多くの選手の活躍が感動を呼んだのと同じように、私たちは、本大会出場にご支援、ご協力をいただいた皆様への感謝の気持ちを込めて、若さあふれる感動のステージを展開することを誓います。

鳥取県立米子高等学校 田中 幸喜



優勝旗返還

奈良県立ろう学校 永井 美優

昨年の第2回大会優勝校 奈良県立ろう学校の永井美優さんから、平井伸治鳥取県知事へ優勝旗が返還されました。平井知事からは、代わりに優勝盾が永井さんに贈られました。

昨年の第2回大会の様子



出場チーム

20チーム(21校)

発表順	高校名	都道府県	出場	内容	タイトル	メンバー数
1	よなご 米子高等学校	鳥取県	初出場	読み聞かせ	手話による読み聞かせ 『はじめてのあかずきん』	6
2	きょうと や わた 京都八幡高等学校南キャンパス	京都府	初出場	学校紹介	支援学校との 交流をとおして	9
3	きょうと あ り つ ろ う 京都府立聾学校	京都府	2回目	演劇	3つの願い	7
4	み の ぶ さ ん 身延山高等学校	山梨県	2回目	歌唱・演劇	忘れない3.11 ～ろう者の渡辺さんご夫婦との出会いと絆～	15
5	おかざきびがし 岡崎東高等学校	愛知県	初出場	歌唱・ダンス	LET IT BE (そのままでもいいよ、大丈夫)	2
6	よこはま なんりょう 横浜南陵高等学校	神奈川県	初出場	歌唱・演劇	二人の片想いを 後押ししませんか?	12
7	ま わ し 真和志高等学校	沖縄県	3回目	演劇	いのちのリレー	8
8	とっとりろう 鳥取聾学校	鳥取県	3回目	演劇・傘踊り	いなばのしろうさぎ	1
9	まつばら 松原高等学校	大阪府	3回目	演劇	3つのWA ～意識が変われば笑顔が変わる～	16
10	きょうわ 杏和高等学校	愛知県	2回目	歌唱・演劇	私たちにできる避難活動	11
11	さかいみなとそうごう ぎ り ゅ づ 境港総合技術高等学校	鳥取県	3回目	歌唱・ダンス	Walk Together ～私らしく、あなたらしく、自分らしく～	18
12	な ら ひ ん り つ 奈良県立ろう学校	奈良県	3回目	演劇	輝跡-キセキ-	5
13	いしかりしょうぼう 石狩翔陽高等学校	北海道	3回目	演劇	啓発型手話劇 『合理的配慮へのいざない』	5
14	せい しん がく えん ちゅうとうきょうい 聖心学園中等教育学校	奈良県	初出場	ダンス	桜 ～すべての人へ～	7
15	おおいずみざくら 大泉桜高等学校 たちかわ 立川ろう学校	東京都	3回目 初出場	ダンス・コント	Road to Tottori	12
16	み い 三井高等学校	福岡県	3回目	ボディーパーカッション ・歌唱	音楽を楽しむばい!	12
17	ちゅうおう 中央ろう学校	東京都	初出場	歌唱・演劇	一郎先生と生徒の歩み	9
18	とっとり じょうほく 鳥取城北高等学校	鳥取県	2回目	コント	忍者学校	8
19	た つ り は ま 田鶴浜高等学校	石川県	3回目	歌唱・演劇	伝えあえる喜び、 私たちが創る未来	6
20	くまもとろう 熊本聾学校	熊本県	2回目	語り	そのとき僕たちは ～熊本地震～	4

表彰結果

賞	発表順	チーム(都道府県)	最終得点
優 勝 全日本ろうあ連盟賞 日本財団賞	20	  熊本聾学校(熊本県)	281
準優勝	7	  真和志高等学校(沖縄県)	272
第3位	12	  奈良県立ろう学校(奈良県)	272
審査員 特別賞	16	  三井高等学校(福岡県)	—

表彰内容

●賞状



優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞。優勝チームには、全日本ろうあ連盟賞・日本財団賞も授与

●盾



●優勝旗



●メダル



優勝、準優勝、第3位の選手全員に授与(素材は鳥取砂丘の砂)

●副賞

優勝チーム



「東京ディズニーリゾートギフトパスポート(選手全員)及び15万円分の旅行券」
また、全日本ろうあ連盟賞・日本財団賞からも副賞が贈られました。

準優勝チーム



「鳥取県の特産品の詰め合わせ 5万円相当」

第3位チーム



「鳥取県の特産品の詰め合わせ 3万円相当」

審査員特別賞



「鳥取県の特産品の詰め合わせ 1.5万円相当」

●記念品

フォトスタンド



メダル授与者を除く選手全員にプレゼント(素材は鳥取砂丘の砂)

出演者紹介

●演技司会者



はや せ げん た ろう
早瀬 憲太郎さん

ろう者として、学習塾「早瀬道場」を設立し、塾長としてろう児の国語指導を行っている。映画「ゆずり葉」の脚本・監督。NHK「みんなの手話」に講師として出演してきた。



まつ もと わか な
松本 若菜さん

鳥取県米子市出身。2007年「仮面ライダー電王」で女優デビュー。その後、ドラマ・映画に出演する傍ら、自身の出身地である鳥取県の「とっとりふるさと大使」や「鳥取銀行」のイメージキャラクターを務めるなど、他分野で活躍している。主な出演作に、ドラマ「アルジャーノンに花束を」、「相棒」。映画「ペコロスの母に会いに行く。」「駆込み女と駆出し男」「無伴奏」などがある。2017年2月には、映画「愚行録」の公開が控えている。

●総合司会者



おの だ こう し
大木 浩司さん

NHK鳥取放送局放送部副部長アナウンサー。1997年NHKに入局。東京アナウンス室、広島放送局などを経て、2014年にNHK鳥取放送局に赴任。現在、同局放送部の副部長を務める。

●ゲストパフォーマー



ぎ ふ げき だん
岐阜ろう劇団いぶき

岐阜市を中心としたろう者による劇団で、1982年に結成。ろう者の感性・創造性を信じ、ろう者の可能性の追求やろう者の舞台を通じて、岐阜市民への理解を目的とし、ろう文化の一つとして活動している。全国ろうあ者演劇祭典に7回参加。1995年には、世界ろう者会議演劇祭典（ウィーン）に日本代表として参加。1996年には、県芸術文化奨励賞受賞。第9回岐阜市民芸術演劇の部に初めて参加。

● 審査員



ろう者

しょう ぎさ たけ し
庄崎 隆志さん

審査員長／演出家・俳優

『曽根崎心中』『遠野物語』主演など、俳優として表現方法を探求しながら演出・脚本も手掛ける。映画『ゆずり葉』主演。横浜文化賞・文化芸術奨励賞の受賞など、多くの受賞歴があり、ろう者の俳優の第一人者として活躍中。



ろう者

おし だり あ き こ
忍足 亜希子さん

女優

映画『アイ・ラブ・ユー』でろうの主演女優としてデビュー。映画『アイ・ラブ・フレンズ』『アイ・ラブ・ピース』『黄泉がえり』など印象深い演技を披露。ドラマ・CM・モデルとしても活躍。



ろう者

こ なか えい いち
小中 栄一さん

全日本ろうあ連盟副理事長

7歳頃に聴覚障がいとなる。NPO法人ろう教育を考える全国協議会 理事長／社会福祉法人富山県聴覚障害者協会 理事／富山県聴覚障害者センター 施設長／富山市聾唖福祉協会 会長



聞こえる人

かど ひで ひと
門 秀彦さん

絵かき

ろうあ者の両親を持つ健聴者。両親との手話コミュニケーションの補足として絵を描き始める。ことばで会話することだけがコミュニケーションではないという思いから、『HAND TALK』という言葉を生み出しコミュニケーションの大切さを伝えている。



聞こえる人

みなみ なるか
南 瑠霞さん

手話パフォーマー・手話通訳士

手話ミュージカルや手話ライブ等を展開する“手話パフォーマンスきいろぐみ”主宰。NHK『LIFE～人生にささげるコント～』『東京ディズニーリゾート』など、各メディア・舞台に出演。ドラマ『オレンジデイズ』、ハリウッド映画『バベル』等手話指導。



聞こえる人

やま だ もり お
山田 衛生さん

鳥取県合唱連盟理事長
全日本合唱連盟常務理事

1970年代よりオーケストラ、合唱等、地域の文化活動に携わり、1995、1998、2005、2014年県民による第九倉吉後援指揮者を務める。2004年鳥取県合唱連盟理事長に、2016年全日本合唱連盟常務理事に就任。



チーム演技①

① 米子高等学校 (鳥取県)

読み聞かせ



初出場



② 京都八幡高等学校 南キャンパス (京都府)

学校紹介



初出場



③ 京都府立聾学校 (京都府)

演劇



2回目



④ 身延山高等学校 (山梨県)

歌唱・演劇



2回目



おか ざき ひがし

5 岡崎東高等学校(愛知県)

歌唱・ダンス

初出場



よこ はま なん りょう

6 横浜南陵高等学校(神奈川県)

歌唱・演劇

初出場



ま わ し

7 真和志高等学校(沖縄県)

演劇

3回目



とっとり ろう

8 鳥取聾学校(鳥取県)

演劇・傘踊り

3回目



チーム演技②

9 松原高等学校 (大阪府)

演劇

3回目



10 杏和高等学校 (愛知県)

歌唱・演劇

2回目



11 境港総合技術高等学校 (鳥取県)

歌唱・ダンス

3回目



12 奈良県立ろう学校 (奈良県)

演劇

3回目



いし がり しょう よう
13 石狩翔陽高等学校 (北海道)

演劇

3回目



せい しん がく えん ちゅう どう きょう いく
14 聖心学園中等教育学校 (奈良県)

ダンス

初出場



おお いずみ さくら
15 大泉桜高等学校・
 たち かわ
立川ろう学校 (東京都)

ダンス・コント

3回目・初出場



み い
16 三井高等学校 (福岡県)

ボディーパーカッション・歌唱

3回目



チーム演技③

17 中央ろう学校(東京都)

歌唱・演劇

初出場



18 鳥取城北高等学校(鳥取県)

コント

2回目



19 田鶴浜高等学校(石川県)

歌唱・演劇

3回目



20 熊本聾学校(熊本県)

語り

2回目



大会の様子



応援



想い



青春



情熱



バリアフリー対策

障がいのあるなしに関わらず、誰もが楽しめる大会をコンセプトに、様々なバリアフリー対策を行いました。

●SPコード



チラシなどの配布物には、視覚障がい者向けに音声読み取りができる「SPコード」を添付しました。

●ハートフル席



階段の昇り降りが必要なく入場できるよう1階前方に約180席のハートフル席を設置し、お年寄りや体の不自由な方、妊婦の方などにご利用いただきました。

●LEDスクリーン



情報保障を確保するため、広い会場のどの席からも見やすくなるよう手話通訳・ライブ映像・要約筆記の3つの要素を1つの画面で表示できる大型のLEDスクリーンを配置しました。

●託児・救護室の配置

簡易ベッド付の救護室には、看護師を配置。また、専門の託児スタッフのいる託児室を設置しました。

●総合案内



総合案内には、手話通訳スタッフを8名配置。また、情報ボードを掲示し、今ステージで何が行われているかを文字情報で伝えました。また、総合案内だけでなく、会場内にも手話通訳スタッフを配置し、聴覚障がい者への配慮を行いました。

●無料シャトルバス



JR倉吉駅と会場間を結ぶシャトルバス(車イス乗車可)を運行しました。

●インターネット動画配信



会場へ来ることのできない方も大会を楽しむことができるよう、インターネットでライブ配信しました。

●音声ガイド(視覚障がい者向け)

ステージの様子を実況しながら、伝える「音声ガイド」を用意。ガイドはリーディングアクトの田中京子さんが担当し、多くの視覚障がいの方にパフォーマンスをお楽しみいただきました。

公式グッズ販売

●公式グッズ

大会の記念に公式グッズを制作・販売し、多くの方にお買い物を楽しんでいただきました。
(制作・販売は、障がい福祉サービス事業所等が行いました。)



缶バッジ(250円)



マフラータオル(各600円)



手話甲子園フォトスタンド(600円)



手話甲子園キーホルダー(500円)



手話甲子園限定Tシャツ(900円)



手話甲子園公式ポロシャツ(各2,000円)



ステッカー3点セット(1セット 200円)



ピンバッジ(各500円)



会場の様子

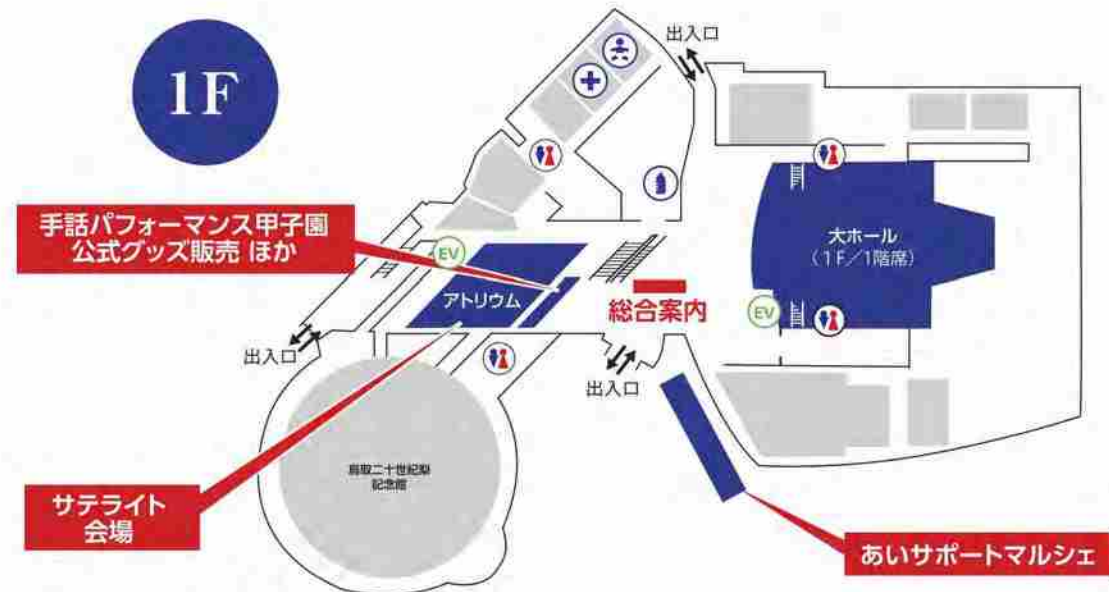
●鳥取県聴覚障害者協会コーナー

イベントの共催者でもある(公社)鳥取県聴覚障害者協会によるオリジナルグッズ等の販売コーナーを設けました。



●協賛企業PRコーナー

大会に多大な協賛や協力をいただいた(株)明石スクールユニフォームカンパニー様のPRブースを設置しました。



●サテライト会場

240インチのスクリーンと、60インチのモニターを3台設置し、会場内の様子を放映しました。



●あいサポートマルシェ

障がい福祉サービス事業所9店舗が出店し、特産品や軽食・スイーツ等飲食物・オリジナル製作品等の販売を行いました。



●鳥取聾学校写真展

鳥取聾学校写真部が撮影した写真約20点を展示しました。
また、同部の作品を紹介する写真集の無料配布を行いました。



●手話パフォーマンス甲子園PRコーナー

第1回大会からの様子を映像と写真で紹介しました。



●手話パフォクイズラリー

手話にまつわるクイズに答えるクイズラリーを行い、ステージでは、豪華賞品が当たる抽選会を行いました。



●大ホール 配席図



●おもてなしブース

県外からの来場者の案内所として、JR倉吉駅に「おもてなしブース」を設置。大会の紹介や鳥取県の観光PRを行いました。

交流会

●日時

平成28年9月24日(土) 18時～20時

●会場

鳥取短期大学・鳥取看護大学 シグナスホール内体育館
(鳥取県倉吉市福庭854)

●出席者

約300人

- ・手話パフォーマンス甲子園出演者(出場チーム、審査員、司会者等)
- ・来賓(全日本ろうあ連盟、日本財団、鳥取県議会議員等)
- ・主催、共催者(鳥取県、実行委員会、鳥取県聴覚障害者協会)

●主催

鳥取県、手話パフォーマンス甲子園実行委員会

●形式

立食ビュッフェ方式

●次第

- ・主催者あいさつ
- ・乾杯
- ・出場チーム抱負
- ・アトラクション 「マカローニ」ダンスステージ
- ・今井絵理子参議院議員からのエール
(第1回・第2回大会司会者)
- ・司会者からのエール(松本若葉さん)
- ・審査員長からのエール(庄崎隆志さん)



交流会の様子



大会に出場する高校生と御歓談になる佳子内親王殿下



●皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席をいただいた。

●アトラクション

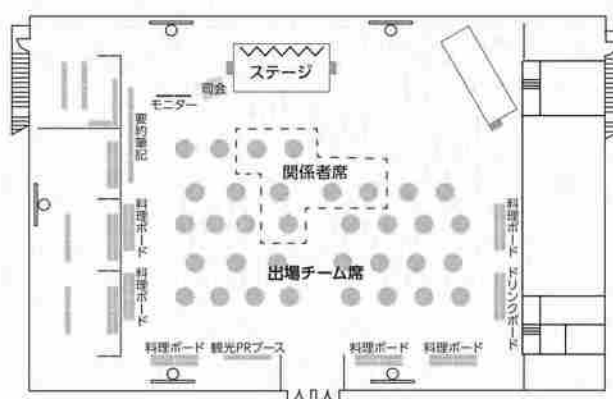
「マカローニ」ダンスステージ

手話パフォーマーの高木里華とヒップホップ・ダンサーのTAMAの2名からなるろう者による女性ユニット。

軽快なダンスで会場の高校生たちを楽しませました。



●配席図



司会者からのエール(松本若菜さん)



審査員長からのエール(庄崎隆志さん)



第1回、第2回の司会を務めた今井絵理子さん(現参議院議員)も応援に駆けつけ、出場者にエールを送りました。



談笑するマカローニのTAMAさんと高校生のみなさん

予選審査会

●日 時

平成28年8月9日(火)

●会 場

鳥取県庁

●審査員(4名)

- ・審査員長 庄崎 隆志さん(ろう者)
- ・小中 栄一さん(ろう者)
- ・門 英彦さん(聞こえる人)
- ・山田 衛生さん(聞こえる人)



庄崎 隆志さん



小中 栄一さん



門 秀彦さん



山田 衛生さん

●審査方法

各チームから提出を受けたパフォーマンス映像(3分以内)について、審査員4名により審査を行い、本大会に出場する20チームを選出しました。



●審査結果は全国へ配信

予選審査会終了後、結果発表会見及び本大会発表順等の抽選を行い、その様子をインターネット中継し、全国へ発信した。



結果発表会の様子



インターネット中継映像の様子

● 予選参加チーム(本大会出場チーム除く。(61チーム・65校))

過去最多となる全国30都道府県から、61チーム(65校)の参加申込みがありました。

ブロック名	高校名	
北海道・東北 ブロック	●札幌平岸高等学校(北海道) ●石狩翔陽高等学校a(北海道) ●美唄聖華高等学校(北海道)	●新得高等学校(北海道) ●鶴岡中央高等学校(山形県)
関東 ブロック	●松井田高等学校(群馬県) ●大川学園高等学校(埼玉県) ●クラーク記念国際高等学校 東京キャンパス(東京都) ●野津田高等学校(東京都) ●二俣川看護福祉高等学校(神奈川県) ●藤沢総合高等学校(神奈川県)	●(豊南高等学校(東京都)) ●(秀明八千代高等学校(千葉県)) ●(平塚湘風高等学校(神奈川県)) ●(神奈川工業高等学校(神奈川県)) ●(立花学園高等学校(神奈川県)) ●(小田原総合ビジネス高等学校(神奈川県)) ●(茅ヶ崎高等学校(神奈川県))
中部 ブロック	●啓新高等学校(福井県) ●掛川高等学校(静岡県) ●桜花学園高等学校A(愛知県) ●桜花学園高等学校B(愛知県)	●南陽高等学校(愛知県) ●安城生活福祉高等専修学校(愛知県) ●海翔高等学校(愛知県)
近畿 ブロック	●朝明高等学校(三重県) ●伊賀白鳳高等学校(三重県) ●八幡高等学校(滋賀県) ●クラーク記念国際高等学校 大阪梅田キャンパス(大阪府)	●芦間高等学校(大阪府) ●福井高等学校(大阪府) ●鳴尾高等学校(兵庫県) ●社高等学校(兵庫県) ●橋本高等学校(和歌山県)
中国・四国 ブロック	●青翔開智高等学校(鳥取県) ●岩美高等学校(鳥取県) ●萩高等学校(山口県)	●高松南高等学校(香川県) ●宇和高等学校(愛媛県) ●嶺北高等学校(高知県)
九州・沖縄 ブロック	●唐津青翔高等学校(佐賀県) ●嬉野高等学校(佐賀県) ●神埼清明高等学校(佐賀県)	●平戸高等学校(長崎県) ●大分東明高等学校(大分県) ●佐伯豊南高等学校(大分県)

● 広告等

- ・日本海新聞 記事体広告(1回)
- ・日本海新聞 ラテ欄(2回)
- ・日本海新聞 うさぎの耳 全5段広告(1回)
- ・日本海テレビ 開催告知テレビCM 15秒(30回)

- ・日本海テレビ 24時間テレビでの告知
- ・日本海テレビ 情報番組「スパイス・カフェ」にて告知
- ・FM山陰 開催告知ラジオCM 20秒(16回)



ラテ欄広告



記事体広告



うさぎの耳 全5段広告



特集記事



24時間テレビ



テレビCM

● チラシ等

- ・A4版チラシ(出場チーム募集篇・出場チーム決定前篇・出場チーム決定後篇)
- ・B1版/B2版/A1版ポスター ・のぼり(開催篇・大会紹介篇) ・卓上ののぼり(開催篇・大会紹介篇) ・横断幕 ・懸垂幕
- ・うちわ ・手提げ袋



出場チーム募集篇



大会開催篇①(日程紹介等)



大会開催篇②(出場チーム決定)



うちわ



手提袋



ポスター



大会のぼり①
(卓上ののぼりも制作)



大会のぼり②
(卓上ののぼりも制作)

●YouTube動画

- ・大会プロモーション映像「チーム募集篇」
- ・大会プロモーション映像「予選審査会開催篇」
- ・大会プロモーション映像「本大会開催篇」
- ・大会プロモーション映像「大会ダイジェスト篇」
- ・大会プロモーション映像「明石スクールユニフォームカンパニーPRキャラクター篇」
- ・応援メッセージ 柳匡裕さん(手話カフェオーナー)
- ・応援メッセージ 善岡修さんと貴田みどりさん
- ・応援メッセージ 早瀬久美さん(薬剤師)
- ・応援メッセージ 若林亮さん(弁護士)
- ・応援メッセージ 岸野楓さん(早稲田大ラグビー部)
- ・応援メッセージ 松本若菜さん
- ・応援メッセージ HANDSIGN



チーム募集篇



予選審査会開催篇



本大会開催篇



応援メッセージ 松本若菜さん



応援メッセージ HANDSIGN



明石スクールユニフォームカンパニー
PRキャラクター篇

●YouTubeでのライブ配信(手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル)



8月9日(火) 予選審査会結果発表



9月25日(日) 本大会

●ホームページ・SNS



公式サイトを開設。Facebook、twitter、YouTubeを活用し、大会情報など随時発信しました。

●ディスプレイ広告



平成28年7月4日(月)～9月25日(日)まで、山陰主要駅(鳥取駅、倉吉駅、米子駅、松江駅、出雲市駅)でデジタルサイネージによる広告を行いました。

●第3回大会公式テーマソング

HANDSIGN「LIFE STORY」

大会ダイジェスト番組

●番組名



●内 容

第3回手話パフォーマンス甲子園のステージの様子を中心に、前回大会の優勝チーム、奈良県立ろう学校や鳥取県内の出場チームに事前取材を行い、大会の魅力、手話に対する思いをメッセージとして伝える。

●司 会

・TATSU (HANDSIGN)
手話を取り入れたダンスグループ「HANDSIGN」のメインヴォーカリスト。第1回大会は審査員、第2回大会はゲストパフォーマーとして登場し、大会への縁も深い。



●レポーター

・本庄かなこ
地元倉吉市の現役高校生タレント。同じ世代の高校生からのメッセージを視聴者へ伝えました。



●放送日

平成28年10月29日(土)13時00分～14時00分
日本海テレビ

●告知(ダイジェスト版)放送

平成28年10月22日(土)10時25分～30分
平成28年10月29日(土)10時25分～30分
日本海テレビ



手話パフォーマンス甲子園実行委員会

●実行委員会委員

役 職	所属・役職名	氏名(敬称略)
会 長	鳥取県知事	平井 伸治
委 員	一般財団法人全日本ろうあ連盟 事務局長	久松 三二
	日本財団 理事長	尾形 武寿
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長	下垣 彰則
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 支部長	福田 幸夫
	鳥取県商工会議所連合会 会長	藤縄 匡伸
	鳥取県教育委員会 教育長	山本 仁志

【オブザーバー】内閣府、厚生労働省、文部科学省

●企画推進会議委員

役 職	所属・役職名	氏名(敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長	戴田 千登世
委 員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	廣田 喜春
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長	戸羽 伸一
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 専務理事	杉本 新二
	鳥取県教育委員会 教育次長	寺谷 英則
	鳥取県高等学校長協会 会長	依藤 典篤
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	山内 晃
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子

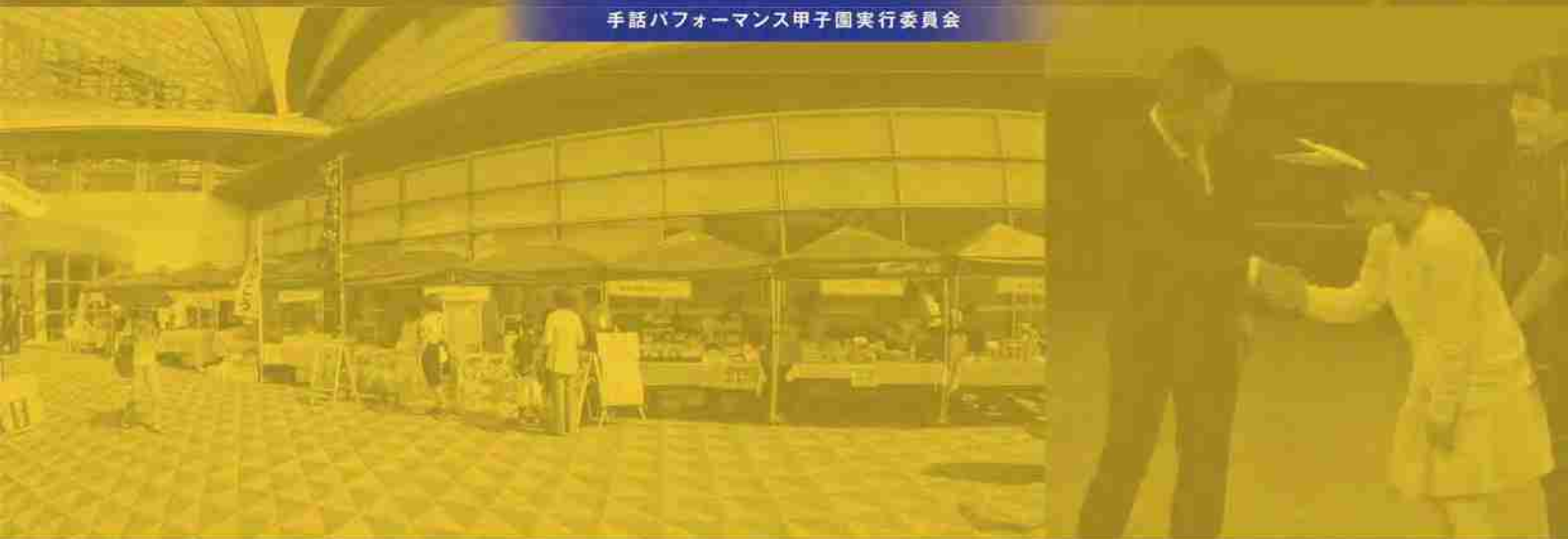
●監事

役 職	所属・役職名	氏名(敬称略)
監 事	鳥取県立鳥取聾学校 事務長	上杉 郁子
	鳥取県会計管理者会計局会計指導課長	田中 順一



第3回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園 実績報告書

手話パフォーマンス甲子園実行委員会



- 主 催 / 手話パフォーマンス甲子園実行委員会
- 共 催 / 鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
- 特別協力 / 一般財団法人全日本ろうあ連盟
- 後 援 / 内閣府、厚生労働省、文部科学省、倉吉市、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、全国高等学校文化連盟、朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM鳥取、DARAZ FM

- 協 賛
-  **AKASHI S.U.C.**
株式会社 明石スクールユニフォームカンパニー
-  山陰合同銀行
-  TOTTORI BANK
-  鳥取銀行
-  大山どり
-  白バラ牛乳
-  大山乳業農業協同組合
-  TFC
-  株式会社 鳥取県情報センター

- 特別協賛
- Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

第3回大会に係る企画推進会議委員の皆様のご意見・ご感想

平成 28 年 11 月 25 日

企画推進会議（平成28年第3回）資料

良かった点

【大会全般】

- ①宮様のお成りもあって、各種メディアに取り上げられただけではなく、参加した高校生にとっても特別な大会となった。来年以降も是非開催をお願いしたい。

【来場者】

- ①整理券式は空き席が把握でき、良かった。
- ②会場の座席数やその他のスペースも十分な広さがあり、観客の方もスムーズに着席し、ステージを楽しむことができたと思う。
- ③朝早くから会場にたくさんの方が来ておられました。3回を重ね、コマーシャルやポスターで少しずつみなさんに広まっているように感じます。

【会場】

- ①会場が広くて良かった。
- ②3回目にして 2,000 人規模の会場を押さえることができ、客席にも余裕があったように聞き、規模としては良かった。
- ③会場が大きく、駐車場も昨年より広がったので良かった。
- ④マルシェの周りにゴミ箱が多く配置しており、落ちているゴミもなくきれいで良かった。
- ⑤会場の設営、スクリーンの配置なども大変よく、見やすく行動しやすかった。

【演技、表彰】

- ①表彰式の時に参加者全員が舞台に上がったのは大変良かった。
- ②パフォーマンスのレベルが高くなり、感動した作品が多かった。
- ③本大会の参加校のパフォーマンスのレベルは年々向上している。
- ④各校様々な工夫がなされていて、レベルが高くなったように感じました。
- ⑤残り時間の掲示が3階からもよく見え、時間を意識しながら見ることができました。

【施設・設備】

- ①大型 LCD パネル（スクリーン）の設置が様々な問題を解決し、観衆が鮮明な映像を視聴できたことで、情報保障が十分に機能したと考える。
- ②スクリーンが LED 方式で良かった。
- ③ステージ上のスクリーンが大きくマルチになっていて、見やすく良かった。
- ④スクリーンも大きくし、一つの画面に演者・通訳・字幕を表示できたのは良かった。
- ⑤救急対応が良かった。
- ⑥ステージの映像が大変素晴らしかった。輝度がはっきりしていた。

【運営等】

- ①計画準備の段階からイベント業者とのコミュニケーションができていて、業者がろう者の視点を大事にする姿勢を一貫したこともが、全体的な成功につながったと思う。
- ②裏方（私たち）にも手話通訳担当者が配置されたことで、常に状況を把握し、必要な行動をとることができた。
- ③担当統括から声掛けが多く相談しやすく、担当業務が快く円滑に遂行できた。
- ④今までと比べて、手話通訳者に対する対応・配慮が良かった。
- ⑤ホテルのスタッフの方の接客対応が非常に良かった。
- ⑥昨年のドタバタと比べると準備等ができていて、良かったように思う。

【司会、ゲスト、審査員】

- ①司会の早瀬憲太郎さんのトークも良かった。

【参加高校生】

- ①3階で参加校同士が交流し、仲良くなっている様子を見かけました。参加するだけでなく、全国各地の高校生との交流はありがたい機会だと思います。

【交流会】

- ①鳥取県の料理は美味しかった。
- ②交流会のゲストパフォーマーの時、生徒も集中して見ることができ、良かった。
- ③交流会では、佳子内親王殿下に全ての参加校の代表がお声掛けいただき、一生の宝物となった。
- ④交流会では、手話がよく分からなくても通訳の方がテーブルにいらっしゃったので、会話を楽しむことができました。困ったときには大変助かりました。

改善すべき点、工夫が必要だった点

【来場者】

- ①クイズラリーの参加が少なかった。

【会場】

〔客席〕

- ①ハートフル席の空席が目立った。どのような方が対象か、スタッフ・来場者ともに基準を明確に案内する必要がある。
- ②一部に出入りできない入場口があったが、来場者は分からずに行ったり来たりされた方もいた。来場者は憤慨。必要な情報はステージから全員に対してすることが必要。
- ③（出入り禁止の）西（舞台下手）側出入り口からの来場者が多く、「申し込みしてないけど、誰でも入れるのか？」等の声掛けがあった。出入り口が複数の場合は、来場者の動線を考えた対応が必要。
- ④ホール内の着席状況が分からず、質問に答えられなかった。しかし、担当統括に説明し、その後は適宜情報があり、安心して案内できた。
- ⑤ハートフル席開場予定時間より早く入場があり、ホール入口で待ってもらった。そのため、来賓案内がスムーズにできなかった。開場を早くする場合は関係者へ伝達すべき。
- ⑥皇族がいらっしゃるという関係で、時間帯によっては、3階から自由に移動はできませんでした。また、1階で何が起きているのか、どう進行しているのか分かりづらい生徒たちは、様子を知らたがっていたようです。

〔サテライト会場〕

- ①サテライト会場は、1日ずっと外光が入る場所であったために、スクリーン上の映像が全く見られなかった。
- ②サテライト会場のスクリーンは見にくかった。（多数の御意見あり。）
- ③サテライト会場の小さなスクリーンは映像にタイムラグがあり、「どれも見にくい、左右で映っている内容がずれていて声が合っていない」の参加者の声があった。
- ④（スクリーンに比べ）モニターははっきりと映っていたが、小さくて見えにくかった。

〔手荷物検査〕

- ①エスカレーターの上がり口で荷物チェックが行われていて、エスカレーター上に列ができ危険だったらしい。
- ②手荷物検査が2階の一般来場者の入場口しかなかった。
- ③朝、手荷物検査に行列ができ、誘導はしたものの階段やエスカレーターで混雑が発生し、危険な場面もあった。
- ④朝の開始時は良かったが、時間とともに配置替えがあり、人手不足となった。

〔総合受付〕

- ①同行者席に案内する人か否かの判断が難しかった。区別できる基準が明確に出されていれば良かった。
- ②受付等で手話を見ることができると範囲が限られているため、ホワイトボード等の準備もあった方がよい。（手話ができないスタッフでも案内できる。）
- ③インカムを付けたスタッフが動き回ると、スムーズな連絡が難しかった。

〔展示関係〕

- ①展示が2階にあり、場所がわかりにくかった。案内板や目印を設置しては？
- ②クイズラリーのパネルの場所が一目でわかる地図がプログラムとか、看板や表示があると良かった。
- ③ホール出入り口に「1階席・2階席」の表示があれば、出入りに迷う人は少なくなると思う。

【託児所】

- ①託児の条件が明記されていないため、断られたケースがあった。

【演技、表彰】

- ①演技時間をライトの色別で表示する方法は出演者にも会場にも時間がわかり良い方法だったが、緑と黄色の判別がわかりにくかった。
- ②予選を勝ち抜いてきているので、本大会出場チームの全てに何らかの賞（記念品）を差し上げたいと思いました。是非、御検討ください。

【映像、スクリーン、照明】

- ①スクリーンに出す映像への依存度が高い作品もあった。パフォーマンスにおける映像使用に関する考え方を出すとかの形で「行き過ぎ」に制限をかけることを検討すべきか。
- ②司会や手話通訳の映像撮影に関する技術・手順の確認が必要である。熟練者の助言を受けるべきであるか。

【司会、ゲスト、審査員】

- ①審査員に若い人（30代）を入れるべきではないか。
- ②（ゲスト）アトラクションの時に手話のわからない観客への配慮が必要ではないか。
- ③司会の松本若菜さんの話が少なすぎるように感じた。
- ④ゲストの岐阜ろう劇団いぶきのステージは高校生には内容が合わなかったようだ、1回目、2回目のような高校生が盛り上がるゲストを選んだ方が良いのでは。手話がわからない観客には演劇の内容がわからなかったようだ。

【ボランティア】

- ①ボランティアから、「交代がなく一日立ったままだった」と、不満の声も。
- ②参加の高校生の誘導スタッフで、呼び出しの際、校名の読み間違いが何度もあったらしい。事前調べが必要。
- ③午後担当の手話スタッフ（事前説明会欠席）は、現場到着時間に幅があり、説明を聞くことができなかったようだ。昼食の準備もあったため、集合時間に幅を持たせていたようだが、より具体的に、何時にどこに来て、説明は誰が行うのかということを知らせる必要があったよう。
- ④持ち物管理に困った人もいた。ボランティア経験が少ないと、そういった準備についても明記が必要なようだ。
- ⑤スタッフ数がギリギリで、休憩も取ることができたりできなかったりだった。もっと早い段階で調整してほしかった。
- ⑥手話スタッフにも全体説明をしてほしかった。事前説明会の時に手話スタッフは全体の説明とは別のところで別途に説明があり、配置換えになってもスムーズに対応できなかった。
- ⑦手話スタッフのピブスが分かりにくかった。ピブス背中「手話通訳者」は、壁に背を向けると分からない。前面にも表示があれば良かった。（ホール担当のスタッフはスーツのため、観客は尋ねにくい雰囲気。ピブス姿のスタッフに尋ねられることが多かったように感じた。）

【ライブ配信】

- ①YouTubeでの配信、司会の手話のサイズが小さすぎて、何を話しているのか見えなかった。

【リハーサル】

- ①本大会のリハーサル時間が短いので、不安との声があった。

【交流会】

- ①情報保障の面で、モニターを増やしてはどうか？舞台が低いうえ、また全員起立状態のため、舞台の様子が見えない。
- ②車椅子の高校生もいたため、通路の確保（テーブルの間を広くするなど）を図る必要がある。
- ③料理の並べ方が、一方通行で取る方法だったため、行列になり、交流の時間がとられてしまうため。
- ④テーブルに、学校名がわかる（ミニのぼりなど）を設置してはどうか？
- ⑤実行委員にも名札を用意してはどうか？また、聞こえる人、聞こえない人とわかるものを目印にしてはどうか？（口頭で話しかけられたことがあったため）
- ⑥交流会では、佳子内親王殿下は次々と訪れる参加校の代表者へ対応で休む間もほとんどなく、気の毒であった。
- ⑦交流会の途中で、足が痛そうにされていた方がありました。椅子をお持ちしましょうかと声をかけましたが、遠慮されていました。そういう方には会場の隅の方にでも椅子を用意しておいて、休憩できるコーナーを作るなり、お知らせしておくなりすると良いかもしれません。
- ⑧情報保障の改善が必要。（モニターの高さやサイズ）
- ⑨体育館のため、通訳者として非常に聞きづらかった。
- ⑩来賓控室をもっと大きくしてほしかった。
- ⑪来賓控室の手話通訳者配置がなかった。

その他、ご意見・ご感想

- ①出場校の質は年々、レベルアップしています。また、設営も年々、良くなっています。
ただ、大会後、第3回の様子を早く You Tube にアップしてほしい。出場校が全国各地で、凱旋公演する機会を与えるためにも、当日、来れなかった人や YouTube ライブ中継を見れなかった人にも見ていただきたい。
- ②年々改善されていき、良い大会になったと思う。会場等の環境によって色々問題は出てくるが、全国的にも周知されてきたので、今後とも頑張って続けてほしい。
- ③今回は役割（長谷川副理事長アテンド）を与えてもらい、良かったです。
- ④手話で会話ができない人でも、表示物を持つなどのボランティアを高校生にお願いしたらいかがでしょうか。そうすれば、手話パフォーマンス甲子園に対して興味を持つ人は増えると思います。
- ⑤手話スタッフに限定するのではなく、多くのボランティアの募集を検討してはいかがでしょうか。
- ⑥佳子様入場の時、一度、アナウンスなしでご入場されました。前の席の方は御入場が分からなかったでしょう。司会と舞台監督との連絡はどのようになっていたのでしょうか。
- ⑦よりよい大会にするため、最後まで尽力いただいた関係の皆様に感謝申し上げます。来年以降の大会もよろしくお願いします。
- ⑧大変素晴らしい大会でした。関係者の皆様のご尽力に敬意を表します。
- ⑨参加申し込みが増え、だんだんと知られて来ていると感じています。終わってからでもテレビで放映され、会場に来られなかった人にも見てもらうチャンスだと思います。本校では、会場ではなくインターネットのライブ中継を見ていたという職員がいました。出場できなかったけど大会を見たい、会場までには行けなかったけど大会を見たいという方たちにインターネットは便利で、いろいろな面でのバリアフリー化の一つだと思いました。
- ⑩出場される高校生は、礼儀が良く元気でなおかつ真剣なので、パワーと元気を頂きました。

第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果

① 来場者アンケート結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
② 引率者アンケート結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
③ 生徒アンケート結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	12

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果【来場者】

1. あなたの性別を教えてください。

項 目	回答数	割合
男	27	22.3%
女	87	71.9%
不明・未回答	7	5.8%
計	121	100.0%

2. あなたの年齢(年代)を教えてください。

項 目	回答数	割合
10歳未満	1	0.8%
10代	7	5.8%
20代	8	6.6%
30代	14	11.6%
40代	24	19.8%
50代	29	24.0%
60代	29	24.0%
70代	7	5.8%
80代以上	1	0.8%
不明・未回答	1	0.8%
計	121	100.0%

3. あなたの職業等を教えてください。

項 目	回答数	割合
小学生	2	1.7%
中学生	0	0.0%
高校生	2	1.7%
大学生	4	3.3%
専門学校	0	0.0%
会社員	27	22.3%
団体職員	5	4.1%
公務員	14	11.6%
自営業	8	6.6%
パート・アルバイト	13	10.7%
主婦	24	19.8%
無職	13	10.7%
その他	6	5.0%
不明・未回答	3	2.5%
計	121	100.0%

※その他の例:保育士等

4. 今日は、どちらからお越しいただきましたか？

項 目	回答数	割合
県内	66	54.5%
県外	55	45.5%
不明・未回答	0	0.0%
計	121	100.0%

5. あなたは、この大会を何で知りましたか？(複数可)

項 目	回答数
チラシ・ポスター	33
ホームページ	10
SNS(facebook等)	10
テレビ	9
ラジオ	1
インターネット	1
新聞	7
駅(広告)	1
出演者の紹介	12
学校の紹介	13
団体・サークルの紹介	35
雑誌・関係紙	2
その他	3
不明・未回答	3

※ その他の例:過去の大会も観覧した 等

○来場者 居住地域 内訳

【県内(66名)】

地区	市町村	人数1	人数2
東部	鳥取市	11	12
	岩美町	1	
中部	倉吉市	30	43
	湯梨浜町	8	
	北栄町	2	
	琴浦町	3	
西部	米子市	8	11
	境港市	1	
	南部町	1	
	伯耆町	1	
計		66	66

【県外(55名)】

地区	都道府県名	人数1	人数2
北海道	北海道	2	2
関東	千葉県	1	5
	東京都	4	
中部	愛知県	8	8
近畿	京都府	1	24
	大阪府	11	
	三重県	1	
	兵庫県	7	
中国	奈良県	4	8
	島根県	3	
	岡山県	4	
四国	広島県	1	3
	愛媛県	3	
九州	熊本県	3	5
	福岡県	1	
	佐賀県	1	
不明・未回答		2	2
計		55	55

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果【来場者】

6. 今日はどうでしたか？あなたの感想を教えてください。

項 目	回答数	割合
とてもよかった	83	68.6%
よかった	32	26.5%
あまりよくなかった	1	0.8%
全然よくなかった	0	0.0%
不明・未回答	5	4.1%
計	121	100.0%

7. 今日、お越しいただいたきっかけを教えてください。

項 目	回答数	割合
手話に興味があったから	51	37.2%
人に誘われたから	9	6.6%
高校生の演技が見たかったから	27	19.7%
子どもや親族、知人等が出場するから	15	10.9%
司会や審査員に会いたかったから	3	2.2%
ゲストパフォーマーが見たかったから	7	5.1%
鳥取県が好きだから	3	2.2%
皇族の方がご臨席されるから	4	2.9%
その他	12	8.8%
不明・未回答	6	4.4%
計	137	100.0%

※その他の例：手話講座通学(勉強)中、子が大会に出場 等

8. 去年の第2回大会は見ていただけましたか？

項 目	回答数	割合
会場(米子市公会堂)で見た	33	27.3%
ライブ配信(公式動画チャンネル)で見た	11	9.1%
見なかった	67	55.3%
不明・未回答	10	8.3%
計	121	100.0%

9. 来年も大会を見に行きたいと思いますか？

項 目	回答数	割合
是非行きたい	76	62.8%
まあ行ってもいいと思う	18	14.9%
多分行かない	1	0.8%
絶対に行かない	0	0.0%
分からない	11	9.1%
不明・未回答	15	12.4%
計	121	100.0%

9. 今日、最も印象に残ったチームを教えてください。

チーム名	回答数	割合	(参考)順位
真和志高等学校(沖縄県)	34	27.2%	1
熊本聾学校(熊本県)	16	12.8%	2
奈良県立ろう学校(奈良県)	15	12.0%	3
大泉桜高等学校、立川ろう学校(東京都)	9	7.2%	4
石狩翔陽高等学校(北海道)	8	6.4%	5
聖心学園中等教育学校(奈良県)	6	4.8%	6
鳥取城北高等学校(鳥取県)	6	4.8%	6
鳥取聾学校(鳥取県)	5	4.0%	7
田鶴浜高等学校(石川県)	5	4.0%	7
杏和高等学校(愛知県)	4	3.2%	8
三井高等学校(福岡県)	3	2.4%	9
米子高等学校(鳥取県)	2	1.6%	10
京都府立聾学校(京都府)	2	1.6%	10
身延山高等学校(山梨県)	2	1.6%	10
横浜南陵高等学校(神奈川県)	2	1.6%	10
境港総合技術高等学校(鳥取県)	2	1.6%	10
京都八幡高等学校南キャンパス(京都府)	1	0.8%	11
岡崎東高等学校(愛知県)	1	0.8%	11
松原高等学校(大阪府)	1	0.8%	11
中央ろう学校(東京都)	1	0.8%	11
計	125	100.0%	

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果【来場者】

10. ゲストパフォーマー(岐阜ろう劇団いぶき)はいかがでしたか？

項目	回答数	割合	不明等を除く。
とてもよかった	25	20.6%	34.2%
よかった	36	29.8%	49.3%
あまりよくなかった	8	6.6%	10.9%
全然よくなかった	4	3.3%	5.4%
不明・未回答	48	39.7%	73
計	121	100.0%	

【自由意見】(いぶきさん関係)

○遠くて手話が読み取りづらかったので、拡大映像や手話を知らない人もわかるよう音声手話通訳あったほうがよいと思いました

○字幕が欲しい

○字幕がほしい

○もう少し説明がないと、分からない人には伝わらない。

○字幕もあればよかったですね

○手話だけではわからない

○手話パフォーマンス甲子園は感動しっぱなしでした。ゲストパフォーマーは手話のわかる方はいいののですが、手話のわからない者には意味がわからなかった。

(題名もわからなければ、内容もわからなかった)

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果(来場者) ※自由記載欄

改善点	良かった点
全部に字幕	来て良かった。
サテライト会場のモニターが全然見えなかった	また来年にも参加したいので、よろしくお願いします。
警備が少しやりすぎだった、ご飯が食べやすいとよりよい	ずっと続けてほしい。
記入用のペンが入ってなかった(最初から)。アナウンスの前に照明で合図が欲しい。開会式長い(早く始めて)。出場校紹介はカメラリハして下さい。手話拡大カメラがななめから撮ってたので手話がみづらかった。「予選一位通過」は言わなくていいんじゃない？ハードル上がる。午前休憩欲しい。昼休み短い。出場団体は絞って欲しい。松本さんのおっしゃってる内容と早瀬さんのおっしゃってる内容が字幕表示されておらず、何を話してるかわからなかった。	実際の経験をふまえたパフォーマンスがたくさんあってとても勉強になったし、もっともっとたくさんの人に手話を知ってもらいたいと思いました。たくさんの人、すべての人が自信を持って暮らせる社会になるよう、私たち高校生のような若い世代が頑張っていかなければいけないなと思いました。手話をはじめて、ろう者と関わる機会を持ってい1年半になりました。これからも多くの人たちの役に立てるように頑張ります。
声通訳や字幕の遅れ、漏れが多かったので困りました。それ以外はとても楽しかったです。これからも盛り上げてほしいです。スクリーンのスイッチャー、ミキサーの工夫がすごくよかったと思います。	約35年前に三井高(ボランティア部出身かは不明)卒業の知人がいます。彼、彼女(片マヒ者)の私(健康人)に対する優しさは彼、彼女の後輩につながる様変わりありません。ぜひ今後も三井高の出場を期待します。よろしくお願いします。
字幕が遅いのが気になりました。	若い力を感じる事が出来、楽しかったです。
座席への誘導になぜあれだけ時間がかかったのかなど、改善してほしい	昨年、米子より、以上に手話がなめらかで大変良かったです。さらに研究を願います。
学生と司会と通訳の立ち位置が難しそうだった。	高校生が輝いていてすばしかったです。来年も来たい！
お昼の休憩時間をもう少しだけ増やしてほしいです。演技は非常に良かったです。	午前中が拝見できなかったのですが、とても良かったです。また来年も楽しみにしています。ありがとうございました。
手話パフォーマンス甲子園は感動しっぱなしでした。ゲストパフォーマーは手話のわかる方はいいのですが、手話のわからない者には意味がわからなかった。(題名もわからなければ、内容もわからなかった)	会場内にパブリックビューイングが用意されるなど、前回より充実していて安心でした。開場やスタッフの皆さんの対応も良く、楽しめました。ありがとうございました。
特別なタレントなど1名を！	最後の閉会式も感動しました。ありがとうございました。
予選の点数と今日のパフォーマンスに「？」が多い。評価がむずかしいのはわかるが、もう少し客観的な基準にならないか。パフォーマンスの種類で部門わけしてもいいのでは？	はじめて参加させていただきました。高校生の皆様の心、熱いものを感じ、日本の未来も明るいですね。ありがとうございました。この大会に出場する為に一生懸命練習した毎日と思うと感動です。
こんなすばらしい大会と全国手話検定の日程が重複しているので大変勿体ない。実際自分は来年は検定を受けるので、この大会には来れないので辛い。	鳥取から発信のあいサポート運動、そして手話言語条例、小さな県からはじまった取組が、全国に広がるのがとてもうれしいですね。この高校生たちが未来を背負ってくれるんだなとうれしく、感動しました。
選ばれた20チーム以外の41チームも絶対に舞台に立ちたかったと思う。せめて予選会(映像)をコンパクトにまとめて短時間にスクリーンで披露するなど、奨励措置、情報発信をしてほしい！(1チーム10秒でも7分強の時間)審査員長のコメントは、とても丁寧でわかり易く、素晴らしかった。気持ちが伝わってきました。	お昼休憩がもう少し長くあれば(90分)よかった。10年以上前に手話に興味を持ったのですが、就職してから遠ざかっていました。職場で研修を受け、あいサポーターのバッジをもらったばかりの人が私を含め多くいるのではないのでしょうか。今日をきっかけに、もう一度手話を勉強してみようと思いました。佳子内親王殿下のすばらしい手話に感動しました。
もう少し高校生を主役にしたらいいいと思いました。	今回は会場も駐車場も広くて良かったです。
休憩のタイミング良かった。朝、入って荷物置いて、外で朝食を食べようとしていた。だけど外に出れなかった。荷物チェックgood！小さい休憩について記載してほしい。	子供達の姿を見て、感動しっぱなしで、自然と涙があふれてきました。この場にこれた事、子供に感謝です。今日は心がスッキリ洗浄され、とても良い一日になりました。ありがとうございました。
サテライトのスクリーンが光に反射して見にくい。	会場の人達全員参加出来るパフォーマンスがとても良かったです。
無料バスはとてもありがたかったです。ただ、乗り場がわかりづらかったです。	皇室の方のご臨席は、良い意味でも、広くアピール出来て良いと思います。
今回ホールと2階席の距離や、階段が大変でした。でも広く、観やすく、場所としては良かったです。	どの学校もすばしかったです。自然に涙が出てきました。一生懸命が伝わってきました。
司会の健聴者に通訳を付けることでインタビューが見つらかった。昨年までの今井さんの司会が良かった。	色々、学校各の皆さん、感動をいただきありがとうございます。涙が出そうだった。
神奈川県議会議員3名がゲストパフォーマンスの際、全く見ずにスマホを触っていて、この大会の目的から離れていて悲しかった。見える所でそういう事をしてほしくない。席を後ろにすれば好きな事が出来ると思う。田村議員においては写真も撮っていた。来賓は何をしていいのか。	屋食の場所がわからなくて、ウロウロして、おにぎりでも買って来たらよかったと思いました(売り切れて)。あとで、お弁当屋さんがあるのに気付いて残念でした。私のチェックミス？でした。すごく充実した一日を過ごせたと思います。平井知事さんの手話に感動しました。まいりました！
開会式で合間合間に佳子様をスクリーンに写していて、失礼だと思った。字幕がアドリブになるとまるで追いつけていなかった。高校生はみんなすばしかったです。	初めて参加しましたが、感激しました。鳥取県は素晴らしいです。自分にできる事をやっていきたいと思います。
音声いりますかね。字幕でいいんじゃない？あと、会場が狭い。もっと規模を大きくしたら？もっと周知を徹底して。※書店で手話本を探すとき、読字のコーナーには無いので見つけるのに苦労しました。	すばらしい鳥取！
屋食を探すのに苦労しました。情報(店等)が欲しかった。	とても楽しかったです。ぜひ続けてほしいです。

改善点	良かった点
昼休憩時間が短いのに、昼食の弁当とか売ってあればよかったと思います。飲食店が少なかった。(入場前に売ってもいいのでは？)	障害があってもなくても、みんなと手と手を取りあい、明るい未来をつくっていききたい。ともに生きていききたい。
聾学校と交流校合同2校の発表があれば良い。	また来たいと思います。何かできるか、行動したいです。
審査員も少し甘い感じがしました(一般人も入れたらいいのに)。熊本は地震なので同情心でグランプリに輝いたように思えました。佳子さまのお姉さん眞子さんも手話できるのでご招待してはいかが	初めてきましたが、感動したり、勉強になりました。
食事時間はもっとほしい。食べる所が少なくて食べれなかった。工夫してほしい。	皇室の方のご臨席は、良い意味でも、広くアピール出来て良いと思います。
会場のいちばんうしろで参加しましたか？途中から大変冷えてきました。幸い上衣を持っていたのではおりましたが……。	どの学校も個性いっぱいでした。表情。笑顔すばらしい。動作を「大きく、ゆっくり」が見やすかったです。
午前中に休憩がほしい。倉吉会場良いです。	どの学校もすばらしいパフォーマンスで感動しました。
高校生がもっと参加してくれたらと思います。佳子様が長時間観覧して下さり、ありがたかったです。	手話パフォーマンス甲子園だけあって、どのチームさんも手話上手でした。わかりやすかったです。
クーラーが少しきつくて寒かったです。	1回目、2回目より、会場もPも広くてよかった。
過去を比べて…はわかりませんが、他地方から来るにあたり、もう少し便利な場所はないですか？とにかく来るのが大変でした。	ご来賓の手話、知事のあいさつ感動しました。ぜひ来年も来させて頂きたいと思います。
表彰式、第〇位は△△って言うときあっさりしすぎでもったいない。休憩に入っている間は、何分までか表示しておいてほしい。松本さんはぼろっと話すことが多く、字幕がついていけていないことがあった。手話や聴覚障害に理解のあるとか関わりのある方がいいと思いました。熊本聾は表現力はたしかに気持ちがかもっており、感じるものがあつたが、声を先生がしていたのが少し残念。	
障がい者(ろう者)のサポート方法の考え方の方向が違うと思う。健聴者と同じ環境での情報提供の方法を考えるべき。一般席の入場が定まっていない(座って良い席、ダメな席等、係の人によって言う事が違う)。ハートフル席の定義が定まっていない(スクリーンあるのに、ろう者が優先の意味は？)(車椅子優先があるのはわかる)(入場できちんと伝わっていないですよ、ろう者に)(入場口を分ける意味は？早く並んでいる人も居ます)(ハートフル席の空席が多い)。演技中のスクリーンは必要？高校生の表現力が低下している。文字に頼っている。スクリーンと高校生の手話の両方を同時にみれない。なにをしているのかわからない。後ろの人が見えないうのなら、舞台を映せばいいのでは？司会の女性は少しでも手話が出来ると、わかる人が良いと思う。入場札の1階、2階とは？1階席の空席が多いのに2階席の人は2階のままですか？後ろの方(1階中段)以降、舞台の手話が見えない。そういうことにスクリーンを使うべき。舞台通訳がスクリーンに映ってない。	
皇族のために、中心の一番いい所がうまり、ものものしい雰囲気の中、見るのは面白くなかった。(くろだかり)スタッフの人たちも大変だと思う。手話パフォーマンスを見たいのに、出入りの制限をされるのは気分が良くない、理解できない。周りの飲食店は普通の対応で、ろうの人たちが行列に並んでいて、名前を書かずに、システムを知らされず待っているなど、協力、主旨を周知すべきだと思った。子供と一緒に参加したのですが、筆記の漢字にルビがなく、残念でした。	
優勝校に他の賞も付随してたくさん集中して賞がいくのはどうかと思う。いろいろな学校にあげてほしいと思う。財団賞など、財団独自で選べばよいと思う。	

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果【引率者】

【大会に参加した感想】

とても良かった	16
良かった	4
あまり良くなかった	0
全然良くなかった	0

【大会の良かったところ】

初めての参加でしたが、生徒にとってとても貴重な体験と充実した準備期間を過ごさせることができました。運営もスムーズで良かったです。
交流会は、色々な方と交流ができ、とてもよかった。生徒へのお土産ありがとうございました。ファイル等で1つにまとめてもらえるとさらにありがたいです。
会場、送迎バス等色々本当にありがとうございました。
昨年より、交流会で他校と多く交流できた。それぞれの学校の特徴とかパフォーマンスの思い出とか率直な話が聞け、大変有意義な時間でした。会場が広くなり、より多くの方にライブで見ていただけるので、良かったと思う。会場に隣接して、なし記念館やみやげもの売り場があり、限られた時間を有効に使えて良かった。
手話に関心、理解を持ち、学ぶ仲間との出会いや交流ができること
会場が広く、一般の観客の方が多かった。←反響がわかってやりがいがある。参加者が3階で以前より落ち着いて過ごすことができた。8分という制限時間が守られてスムーズに進行した。大会及び宿のバスで移動できたこと。
運営等とても良かったです。
全国的に有名になってきた大会であり、生徒が手話に興味を持つとともに、表現できる良い機会である。生徒の家族が友人にも手話が広がっている。
佳子様が来られたこと
生徒により経験をさせることができた。
運営大変御苦勞様です。
各チームの魅力や手話のパフォーマンスを見ることができ、とても楽しかったです。手話の可能性が広がるいい機会だと思いました。
生徒たちは、交流が深まりよい体験になった。
今回の大会の内容は前回よりパワーアップしていたと思います。ろう者の気持ちや本音を伝えていたところが良かったです。
リハーサルで、直接照明や音響の人々と話して打ち合わせができた。
県全体をあげての手話普及活動等、さすが言語条例が最初に通った鳥取と感じました。この大会をたち上げ、続けていけること事体すばらしいです。色々なパフォーマンスがあって良かったです。
3回目とあってスムーズに運営できていた。会場が良くわかりやすかった。前日リハについて午前中を鳥取の学校に絞ったのはよかった。
手話言語条例制定の貴県がこのような大会を開催されることが聴覚障がいへの理解、啓発につながっており、行政としての責務を果たされていると思います。聴者、難聴者、聾者が共に競い合うことができる貴重な機会だと思います。会場も昨年より広く、また移動手段も用意していただき、安心して参加することができました。
ろう者の方々や健聴者の方々の様々な手話によるパフォーマンスを見ることができ、多くの感動とエネルギーを頂きました。また生徒にとっても欠けがえのない大変よい経験になったと思います。
前日の交流会が生徒たちにとって貴重な経験になったようで、よい機会を設けて下さったなと感じました。
スタッフみなさんの笑顔がステキでした。
全て良かったです。記録として音入りが欲しいです。販売して頂けば幸いです。

【改善した方がいいと思うところ】

発表後のインタビューが事前に伺っていたものと違い、生徒がとまどっていました。
得点順位はメールでも良いので、その日のうちに知りたいです。交流会や当日会場での写真ルールをもっと明確化してほしいです。ルールを守っていない学校がいくつもありました。会場で撮影している(許可された場所以外)引率者もありました。座席が3Fで、見えにくかったです。移動も大変でした。
交流会後のバスの出発が、9:00近く、宿につくと9:20頃で少々苦しいです。しかし、20チームとなると仕方ないかと思いました。
会場がどこも暑かった。時間を決められて動いている(急いで移動する)のと、初めての場所で緊張しているのとで、とても暑く感じた。特に交流会の会場は待ち時間も長く気分の悪くなる生徒もいた。アテンドの誘導があまり良くなかった。昨年は、各校(2校で1名)専属のアテンドがいて、前日のリハーサル前(到着時)から当日終了まで、ほぼ移動する時には一緒に行動して頂き、質問はアテンドにすれば、すぐに確認していただい、会場内で迷う事が一切ありませんでした。今回は場所ごと(受付～階段まで、座席～練習場まで、舞台～座席までetc)にアテンドが変わり、ひきつぎ(移動時間や移動ルートなど)がうまくいかず、迷うことが多かった。(よく思い出してみると、あの人が専属だったのかなと思われる人がいます。しかし、自己紹介された覚えがなく、アテンドなのか誘導なのか運営スタッフなのかわかりません)
審査基準がよく分からない。年々提出すべきものや字幕の自前作成など課されるものが増えており、なのにそれがない学校が優勝してしまったので、驚いています。(字幕がなくてもあまりある高い評価だったということでしょうか?)

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果【引率者】

20チームはちょっと多いのでは？前日のリハ・交流会(1時間半くらいでどうでしょう？)＋丸一日の大会は遠方から参加する身にはちょっと厳しいスケジュールです。(連日5時半起床になりました)※情報保障の観点では字幕はどのチームもつけるべきだと考えます。難聴者の中には声でも手話でも充分情報が得られない人たちもいるので。交流会は前2回の方が場所も食事も良かったです。交流会を豪華にするよりも大会補助金の充実の方がありがたいので、まあ不満ではないです。
参加生徒席が3階で、保護者席と離れていたため、保護者と生徒との交流(話し)ができなかったため、同一のフロアが良いと思いました。
バスの送迎方法、少し待ち時間が長かった(交流会)点と、場所が分かりにくかった。3F座席の前列の座り方(南陵高校)さんが前列が前のめりに見えていたため、後方の席から他校演技が見えにくくて困りました。
チームごとに人数が異なるのに、交通費、宿泊費の上限が同一であるため、人数の多い学校は大変だと思いました。予選通過後は全額負担して欲しい。
開会式の為、ステージ上に行くことによって、ゲストパフォーマーが見れなかった。
審査基準項目にほんとうに即して審査されているのか。表現技術など(減点、失格など)。「どうぞ」でスタートはきっかけがわかりません。計時がいつはじまり、いつ終わったのか明確にしてほしい。
着替えの場所や救護室など、どのチームにも大切なことを、スタッフ全員が把握しているわけではなく、とまどうときがあった。発表後に、聞いていたのとちがうことを質問されて・・・(;)しょく・・・
皆さん、スタッフの方も忙しいなか、対応して下さいていることには感謝していますが、会場の場所の把握や、タイムスケジュールの調整をもう少しスムーズに出来るのではと感じました。司会の聴者の方に話しながら、手話をしている人へのマイクの向け方や、手話をつかって話している生徒の前に台本があって、手話がみえないという時もあったので司会をされる方にもろう者や手話の事、理解して司会を受けていただきたいです。
報道関係者の動きについてルールをつけてほしい。当日、個人で取材に来ることがあり、こちらとしても対応しにくかった。後から選手席のホワイエを報道関係ブースにしていたのは良かった。会場はよかったが、選手席が3階だったので少し危ないのではという声があった。熊本聾の演技はよかったですが・・・教員が音声通訳をされていたが、演出の一つとしては高校生以外なのでそのあたりは認められるのかと疑問に感じた。音声通訳は演出なのでしょうか？わざと字幕をつけなかったことについてもいい印象は持てないです。聾の立場からすると楽しみにくかったです。(聴者目線のイメージがあった)
手話パレエと表現されていますが、サインダンスは決して手話を取り入れたパレエではなく独自のジャンルです。「ろう者にも健聴者にも共に音楽を楽しんでもらいたい」この思いの為にサインダンスというダンスのジャンルを正しく理解して頂きたいと思います。
書類の案内、提出期限が夏季休暇中だったので、生徒との連絡のやり取りに苦労しました。
20チームの参加ですが、準備の関係でみれない所もあるので、大会のDVDなどを学校だけにでも作ってもらえないか、又、撮影を全チームOKIにして欲しい。

【大会に参加したきっかけ】(複数回答可)

①学校(先生)が生徒に提案した	13
②生徒から提案があった	5
③自治体から参加の打診があった	4
④自治体以外の団体関係団体、関係者から打診があった	2
⑤その他	2 (創立50周年)

<理由、内容等>

回 答	内 容
①	学校宛に案内が届き、ボランティア部員にスポットが当たればと思い、生徒に提案しました。日々ボランティア活動を継続している部員ですが、なかなか注目されることがありません。それがボランティアというものですが・・・。
①	昨年度参加したので、今年は大会HPや広報(愛知県教育委員会)をチェックして、生徒に伝えた。
①	3回目です。1回、2回と出ていると今度も・・・と自然な流れで。立川ろうとの合同応募も自然な流れでした。
①	私(塚元)が4月より赴任して、以前より興味があったため生徒にすすめました。
①	昨年度も参加していたので、初めから、皆、参加について前向きでした。
①	第二回の手話パフォーマンス甲子園を報道番組で見たことがきっかけで、インターネット等で大会の趣旨を知り、ぜひ生徒達に参加させたいと思いました。
①	生徒の活躍の機会を増やしてあげたかったため
①、②	教員から、大会のことを紹介し、希望者をつのりました。
①、②	生徒から一人でも出場したいと話してきた。
②	前回参加で、友達になり、お互い情報交換があり、「どうしても参加したい」と言われた。
②、③	県から案内があり、その後生徒とはなしあって参加を決めました。
②、③、④	生徒達から、絶対予選を通過して鳥取での、パフォーマンス甲子園のステージに立ちたいと言ってきました。
③	鳥取県主催であるが、県立高校の参加が少なく、教育委員会から、校長に依頼があった。
⑤	今年、本校創立50周年であり、第1回、第2回と出場叶い、今年出ない訳にはいかない空気が・・・。
⑤	部活動の活動の目標としてとりくんだ
無回答	募集があることは伝え、参加するかどうか決めたのは生徒

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果【引率者】

無回答	過去2回の大会に出場し、今回も、第2回を終えた時から参加を考え、内容を考えていました。生徒は、その過程ですばらしい成長を見せ、最高の演技をしました。これからも地域でこの成果を多くの人達に見せていきます。
-----	---

【来年も大会に参加したいですか？】

①是非参加したい	13
②まあ参加したい	2
③あまり参加したくない	3
④参加したくない	0

<理由、内容等>

回 答	内 容
①	顧問としては参加させたいですが、今回出場した2年生の意欲によります。すでに出たいと言っていますが、全国のレベルも知れたので、本気で頑張れるかを問います。
①	手話を学ぶきっかけになるから。また、全国大会という大きな大会に出場すると、生徒がいろいろな面で大きく成長できるから。
①	今回、立川ろう学校と合同で参加しましたが、この2泊3日の心の交流こそが大会に参加する目的かもしれません。ほんとう楽しかったのも、今、心にボツカリ穴があいています。
①	生徒は成長することができ、大会においては他校生徒との交流があり、教育活動においてとても有意義だと思います。
①	大会参加を通して生徒の手話に対する興味、関心が向上したとともに人前で表現する良い機会となったため。
①	手話学習を1、2年生も続けているので
①	生徒が言語に触れる良い機会だと思うから。表情の練習や手話の勉強を通してコミュニケーションの練習になるから。
①	生徒達もやる気です！是非参加させて頂きたいです。
①	様々な高校生と交流し、大会をみられてお互いの生徒に、大変刺激となった。
①	全国の高校生が各地で努力をかさね、いろいろな視点をもち、がんばっている姿をみたいし、精進して、又参加したい。
①	本校の部活(手話落語部)にとって目標となる大きな大会であるから。手話を使って表現することを、聴者も聴障者も同じ舞台上で自由に伝えられる唯一の場ですばらしい交流もできるから。
①	手話に対する意欲を高める為。ろうの生徒とも交流することができる。
②	生徒の状況にもよるが、来年度も出場してみたい。
②	前日の交流会等は非常に良い経験になりますが、他校のパフォーマンスを見て、我が校のダンス部の活動範囲を超えていると感じたためです。
③	現時点では疲労感でいっぱいです。授業の一環として出場するのはもはや限界かな・・・という気もしています。
③	参加希望の生徒の強い気持ちがあれば、指導したいが、なかなかそのような生徒がいないため、参加が難しいと考えています。
③	指導者は自費のため、高額のため、キビシイ。(県内チーム)
無回答	希望する生徒がいれば参加します。生徒の意見次第です。
無回答	学校の意向も有り、私の一存では決められません。そして、何より予選通過なるか！！
無回答	参加できる生徒がいれば、参加するかも。
無回答	大変有意義な大会でしたが、遠方であることや学校行事試験等の関係もありますし、何より生徒たちの自主性が大切だと思いますので。現時点では私自身が参加を希望してはいますが・・・という段階です。

【大会前日の交流会についてご意見・ご感想を教えてください】

もっと生徒同士が交流できる企画があればと思いました。カメラ禁止は前半だけにしていただけると、よかったと思います。最後の方は撮影している人もいたのが気になりました。
立食形式はよいのですが、少し足の悪い生徒がいたため、後半少し痛そうな様子でした。座れるスペースが欲しいです。※事前に伝えておらず、申し訳ありません。
良かったです。強いて言うなら、呼び出し(仕切り?)の女性のせつぱつまり感が、スタッフさんへの口調にあらわれ怖かったです。又、参加生徒のマナーの悪さ(アトラクションや発表中に話続ける)ことに申し訳なさを感じました。
他校との交流ができてとても良い。料理もおいしい。待ち時間が長く、する事もなく、待合室も暑く大変だった。昨年の大会の様子(ケーブルテレビで24・25に流れた番組のようなもの)とか、鳥取の観光ビデオとか、流していただけたらいいなと思います。
会場が広すぎたせいか？交流をしたという実感がなかった。料理も・・・すみません、残念でした。ふつうに切っただけの野菜や果物のほうが良い。
正直に言うと、けっこう厳しい。遠方から参加して2時間立ちっぱなしは疲れます。せめて座れる場所があると。競技性を重視するならむしろリハーサルに時間を割くというのもあり？
佳子内親王殿下とのご歓談や他校生徒との交流ができ、大変良かったです。
他校性との交流はやはり、言葉の壁もあり。難しく感じました。通訳の方に、一緒にいていただきたい。
少し暑かった。
手話を学ぶ同じ志の仲間との交流は貴重です。

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果【引率者】

生徒同士、楽しそうに話ができているのでよかったと思います。
交流会いつも沢山のおもてなし本当にありがとうございます。高校生もとても喜んでいます。
県の名産物やパフォーマンス、他校との交流ができてよかったが、夜おそくまであったので、翌日の体調にひびかないか不安だった。
前日の夜に交流会を開くことはとても良いのですが、内容のなかに、他校ともっと交流出来る内容があれば良いと思います。遠方から参加していると、朝一からなので宿に8時頃につける位の予定で、もっと早い時間から交流会をはじめて欲しい。
佳子さまが来られる関係で待ち時間が長いのは仕方ないと思う反面、劇に向けての確認などにも有効に使えるのではと思った。手話通訳が見えにくくて大変だった。他の聾学校は前側だったが、鳥聾は中央でも前から離れていて見にくかった。テレビをもう少し高くしてほしかった。
出場者の名札で、どの高校かもっとわかるような工夫があると、交流しやすいかと思います。
他府県の方やろう者の方々と直接お話をする機会がもて大変有意義な交流会でした。
他校の生徒の方々と交流や皇室の方との交流は生徒にとって大変印象に残る思い出となったようです。
16時半の受け付けで待ち時間がとても長く感じた。疲労がよりたまる感じがした。しかし、生徒はとてもイキイキした様子で他校の生徒と交流していた。待っている時間で、三井高校が名刺をくばっていた。待ち時間に高校生だけの時間にしてもいいのではと思った。←例えば！鳥取県の生徒主催のちょっとしたレクとか・・・
とてもスバラシイですが、高校生を中心としたパーティーが良いと思います。前列におえらい方々で前がみえませんが、高校生同志の交流がメインにしてほしい。あいさつも鳥取の高校生にさせるのもいいかも！

【予選参加申込みから大会にお越しいただくまでの実行委員会の対応について、ご意見やご感想があれば】

とても丁寧で良かったです。大会後もたくさんのメールをいただきありがとうございます。多忙を言い訳に返信できていませんが、週明けには返信します。
とても丁寧にいただきました。
細やかで助かりました。
ささいな事にも、とても丁寧に答えてくださり、感謝しております。
色々、分からない事や変更点に対して、柔軟に対応していただいたという気持ちはあるが、こちらから尋ねて初めて分かるような事も多々あり・・・これからずっと続く大会なのであれば、明確な枠組みができるといいですね。
いろいろ丁寧に対応していただき感謝しております。
とても良く対応していただきました。ありがとうございました。
提出が遅れて申し訳ありませんでした。
きめ細やかに連絡を取って下さいましたが、〆切までの期間が短く、大変でした。
度々、スライドの変更がありました。丁寧に対応して下さりありがとうございました。
〆切の日にちがズレて、設定してあったので、昨年よりよかったと思います。
色々お世話になりました。細かいご配慮に感謝致します。(パンフレットの写真の日付も消していただきましたね)
担当者の安永様にはとても丁寧に毎回説明していただいて、助かりました。おこなっているときも、まわっていただいて、大変お世話になりました。ありがとうございました。
本校の都合で、お返事等おそくなることもあり、ご迷惑をおかけ致しましたが、とても良く対応していただき本当にどうもありがとうございました。
応募に関する要項がわかりにくく何度も問い合わせた。(応募、提出スケジュールの内容と他のところに書かれている内容が一致していなかった)※ヒアリングシートの内部に設定している期限のこと。そこまで細かい部分は、開催要綱では設定していませんでした。
実行委員の方々の対応はとても丁寧で親切に対応して頂きましたが、予選通過後の諸手続きが、夏季休業中の期間で生徒との連絡や校内での許可、日程の調整等々に苦労しました。
こまめに連絡をいただき、助かりました。夏季休暇前にすべての連絡をいただけると有難かったです。
とても丁寧でした。
とても良い。

【大会中の会場スタッフ等の対応について、ご意見やご感想があれば教えてください。】

とても良かったです。そちらのパソコンに使用したいフォントのデータをインストールできなかったのが残念です。
とても丁寧に対応していただきましたが、指示内容や各階での対応にバラつきがありました。入場制限の時間にも差があり、たらい回しに合いました。
皆さん優しく良かったです。特に受け付け？(アテンドの長?)の女性が”Wellカニ”感満開でとてもいやされました。
一所懸命対応して下さいるのが、よく伝わりました。クローズ場所や時間が当日変更になったと聞きました。大変だったと思います。どうもありがとうございました。
それぞれ、どういう立場なのか分からない方がたくさんおられ、その持ち場のことは厳密にされているか、横の連携がとれておらず、混乱する場面がいくつかあった。照明のうちあわせは結局最後まで行ってもらえず・・・どの段階で伝えなければいけなかったのか、未だに分かりません。リハーサルは出演時間の3倍は欲しいです。練習会場をもう少し広く。他校と同じではやりにくいです。
スタッフではないのですが、まだたくさん客がいるのに梨記念館の売店はあっさり時間がきたら閉めるんだなァ・・・と思いました。グッズの値段をまちがって表示して250円のバッジを400円かでしばらく売ってました。うちの生徒が気づいて、それ以降250円。
皆さん一生懸命動いて下さり助かりました。各場所(舞台裏・リハーサル室・会場など)の責任担当の方が分かって聞きやすくていいかと思ひます。あと、演技順での案内を徹底して頂けるとありがたい。次の高校の顧問の先生が自校の事ばかりで少し困りました。

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果【引率者】

良かったです。
ボランティアスタッフの生徒さんと、会場スタッフの方と言う事が違って困った。
とても良いです。倉吉北さんありがとうございます。
ていねいに対応していただきありがとうございました。
特にありません。とても皆さん親切でした。高校生ボランティアも良かったです。
部屋や時間を全てのスタッフが把握しておらず、とまどうときがあった。
救護室を使わせていただきどうもありがとうございました。ただ体調悪くなった人が使う所なのに、ベットがおいてあるだけで、まくらもなし、かけるものもブランケットだけで…。それらを考えて、準備していただけるとありがたいです。
前日リハで舞台袖に手話通訳者がおられたのは良かったが、リハに入る前の受付での説明の時に手話通訳者がおられなかったので来年度はつけてほしい。
受付の時間、中、待ち合いの時間の目安が欲しかった。他はとても丁寧に分かりやすい対応でした。
スタッフの方々の対応は常に親切、丁寧でした。
皇室の方のご臨席に関わって通行止めとなった際に、どのような動きをすべきか、現場の方の指示が不足していたように感じました。
m&mさんはプロですが、本番、パソコンの操作ができなかったりと焦った場面がありました。お互いで確認をとれるように声かけをしていけたらと思います。
とても良い。

【大会の知名度を高めるために、効果的な広報やPR方法があれば、教えていただけないでしょうか？】

すでに様々なことをされていると思うので、申し訳ありませんが思いつきません。
時間とともに知名度は上がっていると思います。方法じゃなくてすみません。
ペットボトルにシール貼る？(応援自販機)の←各都道府県庁＆市役所etcに置く。
愛知県の教育委員会から、各学校あてに手話パフォーマンス甲子園周知の文章が届きました。これも効果はあると思いますが、書類に印がつくだけでよく見ない校長先生も見えるので(失礼しました)校長会などで口頭でPRしてもらえる機会があるといいと思いました。また、参加したくても「手話を学ぶ機会がない」「手話を指導できる教員(もしくは外部指導者)がいない」などで重い腰を上げられない学校もあると思うので、とりあえず手話を指導しても良いという方を紹介できる方法があると良いと思います。
生徒にとってとても貴重な経験になると思うので、ステージの裏側など(メイキング)的な動画などを配信してもよいかもしれません。
イモトアヤコさんが司会する。上田まりえさんでも。やはり全国放送←NHK鳥取制作(中部四国?)、30分くらいのダイジェスト※スーパーはくとで同席した県民の方が大会のことを知らず、残念！
年々、広報やPR方法が向上し、知名度が上がっていると思います。
効果があるか分かりませんが、小中学校にも掲示をして頂けると、高校に進学した時に頑張ろうと思って頂ける生徒が出てこないでしょうニュースに取り上げてもらううちに、年々知られていくと思います。
ケーブルテレビで映して下さったものが全国に映れば、PRになると思います。
鳥取県内では、大変な盛り上がりだが、神奈川県では手話に関係ある人しか知らない現状です。各県知事にもっと働きかけるなど、「甲子園」としての大きさをアピールしてほしい。
TV、全国放送等
1位は全国高文祭への出場権がある等
前日の交流会や当日の大会のこともニュースやワイドショー等に取り上げられくり返し見ましたが、手話パフォーマンスの内容や作品の紹介が少なかったように思います。
TVやネットで広告を出す等。あまり思い浮かびません。
TVで演技の放送をする！！

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果【引率者】

【率直な感想や、具体的な改善提案、今後に向けたアドバイスなど】

大会のノボリ(黄)を記念にいただけたらと思っていました。地元のテレビ局の取材がありましたが、その番組を見たいと生徒は言っています。何か方法はないでしょうか？
皇族の方の出入りに拍手で迎えることには賛成ですが、その度に関係者までも出入りの制限があるのは負担です。改善が難しいようなら、せめて入場制限の時間を、より明確、視覚化してほしいです。たらい回しにならないようお願いします。提出書類等は、まだまだスリムにできる余地があるように感じました。(代案がなくてすみません)
ナシの館(ソフトクリームの店)が17:00に閉まるのが残念でした。連携してこんなイベントデー位18:00頃まで営業してほしかったー。19:00迄開いていて、バスも駅までシャトル便で19:00頃迄動いていたら入って学びたかった。
今回の送迎バスは大変助かりました。タイムスケジュールに合わせてバスを手配していただき、不要な所だけキャンセルしていただけたので、時間を有効に使うことができました。大会の開催を、是非3連休(来年度は9/16(土)～18(月・祝))にして下さい。高校生にとって授業が最優先になります。大会が土曜日で、やむなく金曜日移動しないと開会式に間に合わない場合以外は、平日に公欠できません。今回は仕方なく大会終了後帰宅しましたが、自宅に着いたのが夜11時を過ぎた生徒もあり、まずいと思います。せっかく鳥取まで出かけておいて、いっさい観光ができないのも悔しいです。いろいろな事情があると思いますが、是非3連休での開催を検討して頂きたいです。「ろう劇団いぶき」の公演を数回見たことがあるので、楽しみにしていました。いつもは、手話に対応した口語訳か、字幕表示があるのですが、今回はありませんでした。あえて手話の訳をつけない演出だったのかもしれませんが、そうなら事前にお知らせ(演技は手話のみであるという表示、またはあらかじめストーリーが想像できる単文をスクリーンやパンフレットで紹介する)があると良かったと思いました。参加者の中には、手話を十分に理解できない人もいて、30分無音状態は少し辛かったと思います。本番の字幕表記について、どこまでやればいいのか迷いました。審査項目に「演技上のセリフや手話に対応した字幕が全くない場合」は失格とあり、「演技場のセリフや手話に対応した字幕が十分に表示されない場合」は10点減点とあるので、とても気を遣ってセリフや手話を字幕に直しました。他校演技を見ていて、字幕表記がないと感じたものがあり、減点されているのかとも思いますが、どのような場合失格でどのような場合減点になるのか、具体的に知りたいと思いました。スタッフの方の役割が分かりやすいようにして頂けたらと思います。今回、スタッフのほとんどの方がスーツで仕事をされていて、おもてなし感満載だったのは良かったのですが、名札を下げている「staff+名前」の表記だけで、しかも名前が小さくて読みにくい(舞台上で支持をされている方は名前さえ記入していなかった)ので、まったく見当違いの質問をしてしまったと思います。総合案内、アテンド、通路誘導、舞台関係、事務局関係、etcで、色分けして役割を記入した腕章またはもう少し大きい名札を着用していただけたら良いと思いました。会場に、場所や誘導の看板や張り紙がもっとあるといいと思いました。ロビーから出演者席に移動するとき(アテンド誘導は階段の登り口まで)、1Fから2Fへ階段を上ったところで、リボンクローズしてありました。階段のかべには、2階席3階席の張り紙があるのですが、クローズされているのでフロアにみえたstaffに確認したところ、ここからは上れないと言われました。結局遠回りして他のスタッフ誘導のもと、クローズされたリボンを通り越して席に着きました。つまり、関係者以外立ち入り禁止のリボンクローズのようでした。一般客の方は、クローズされていれば入ってこないと思うので、出演者には入っていいクローズ場所と入ってはいけないクローズ場所を分かるようにしておいて欲しいと思いました。今年の会場は広かったんで、特に迷いが多かったです。
手話の分かる司会者さんがやはりいいともいます。ゲストパフォーマーも演じる内容が分かっているのであれば、字幕などをつけたほうがよかったです。
①ゲストパフォーマーにぜひ「驚道」を！コントを追及する我が校及び立川ろうのメンバーには憧れの存在です。地元の方々も楽しみにされると思います。※立川ろう学校の柴崎先生も東京都認証のパントマイマー(大道芸やってる)です。←宿でやってもらってみなで大爆笑。②採点は審査員名は伏せていいので、具体的に点数の内訳で示して欲しい。③これは書くかどうか迷ったのですが、条例のある県の協力(持ち回りで大会を行うなども)④佳子様を報道する場合に必ず優勝チームのパフォーマンスと一緒に報道するようマスコミに制限かける。⑤大会のDVDが欲しい。
地元、大会実行委員の皆様、ご苦労様でした。このすばらしい大会を続けていくために、今後も御努力よろしくお願いします。
バスの送迎場所について、もう少し説明があるとよかったです。前日リハーサル、当日練習時の着替え場所について決めてあると助かります。他校(次の発表校)が女子がいるので着替えるからと、リハーサル室から出され、かなり時間が減りました。
鳥取県以外の自治体と連携して、他県での開催もできると良い。
生徒たちは、本当によくやったと思っていますが、全体を通し、結果だけをみて思うのは、何を評価されていたのかと疑問に思うことです。これからこの大会がつづいていくのであれば、むずかしい極面にむかっている気がしました。
スタッフの方の名札が少し見えにくい事がありました。太字で大きくして頂けたら助かります。(老眼なもので…)
時間のこまかいスケジュールがよくわからないときがあった。撮影規制について…各学校に各学校の演技箇所のDVDだけでも配る・買えると嬉しい。賞を分けてなるべく多くの高校が入賞できるのいいと思います。
著作権の問題等あるとは、もちろん理解していますが、出場校の自分たちの場面だけでもいいので、DVDにしてほしい。賞をわけて、なるべくたくさんの方にチャンスがくるのいいと思います。
結果について、10位までは学校名公開してほしい。賞について、全日本ろうあ連盟賞は優勝の副賞としてあることは1回目から同ルールなので承知しているが、日本財団賞については優勝校以外の所に受与されるようにしてはどうか？優勝校ばかり多く与えられてもいい気持ちになりにくい。(1回目2回目と違った形だったので…)特別賞と同じような扱いにしていきたい。
昨年のハンドサインのステージは、一緒にダンスができて一体感があった。
色々な面で大変勉強になりました。
前日の交流会は立食形式より座る形の方が他校の生徒と落ち着いて話せるかなと思いました。パフォーマンス前に生徒も疲れたようでした。
リハーサル時間をもう少し長くとりたいたいです。15分は前回より長くなったと思いますが、あっという間で、余計に焦ってしまう。
地元の方々がとてもパフォーマンスに対して好感でした。ショッピングに行っても声をかけられました。うれしかったです。PRがお上手ですネ。又、先生方の交流(会場で)もでき、よかった。

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果【出場生徒】

2. 大会に参加してみてもうでしたか？

項 目	回答数	割合
とてもよかった	121	85.2%
よかった	19	13.4%
あまりよくなかった	0	0.0%
全然よくなかった	0	0.0%
不明・未回答	2	1.4%
計	142	100.0%

3. 練習の成果を出し切って演技することはできましたか？

項 目	回答数	割合
練習の成果は全て出し切った	117	82.4%
概ね練習通りできた	15	10.6%
あまり練習通りできなかった	4	2.8%
全然ダメだった	0	0.0%
不明・未回答	6	4.2%
計	142	100.0%

4. 9月はどれくらい練習していましたか？

(1)頻度

項 目	回答数	割合
毎日	59	41.5%
週5～6日	44	30.9%
週3～4日	30	21.1%
週1～2日	7	4.9%
なし	1	0.7%
不明・未回答	1	0.7%
計	142	99.8%

(2)時間

項 目	回答数	割合
5時間以上	4	2.8%
3～4時間	79	55.6%
1～2時間	48	33.8%
1時間未満	4	2.8%
なし	1	0.8%
不明・未回答	6	4.2%
計	142	100.0%

5. 来年も参加してみたいですか？※()は3年生向け

項 目	回答数	割合
是非、参加したい(してほしい)	105	74.0%
どちらかというと参加したい(してほしい)	29	20.4%
どちらかというと参加したくない(してほしくない)	5	3.5%
もう参加したくない(してほしくない)	0	0.0%
不明・未回答	3	2.1%
計	142	100.0%

6. 他チームの演技で最も印象に残ったチームを教えてください。(自校以外のチームを1つ、○をして下さい)

項 目	回答数	割合	(参考)順位
真和志高等学校(沖縄県)	50	33.4%	1
奈良県立ろう学校(奈良県)	47	31.4%	2
熊本聾学校(熊本県)	14	9.3%	3
石狩翔陽高等学校(北海道)	9	6.0%	4
三井高等学校(福岡県)	8	5.3%	5
田鶴浜高等学校(石川県)	5	3.3%	6
松原高等学校(大阪府)	3	2.0%	7
京都府立聾学校(京都府)	2	1.3%	8
鳥取聾学校(鳥取県)	2	1.3%	8
杏和高等学校(愛知県)	2	1.3%	8
境港総合技術高等学校(鳥取県)	2	1.3%	8
聖心学園中等教育学校(奈良県)	2	1.3%	8
米子高等学校(鳥取県)	1	0.7%	13
大泉桜高等学校・立川ろう学校(東京都)	1	0.7%	13
中央ろう学校(東京都)	1	0.7%	13
鳥取城北高等学校(鳥取県)	1	0.7%	13
京都八幡高等学校南キャンパス(京都府)	0	0.0%	17
身延山高等学校(山梨県)	0	0.0%	17
岡崎東高等学校(愛知県)	0	0.0%	17
横浜南陵高等学校(神奈川県)	0	0.0%	17
計	150	100.0%	

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果(生徒用)

この大会をもっと良い大会にしていけるためのアイデアや、改善して欲しい点があれば、是非教えて下さい。
ホールが4階までのあったので4階からステージを見るのは少し見にくかった。
屋食で配られたお弁当にからあげやポテトサラダを入れてほしいです。私達の世代だと好きな子が多いと思います！！
屋食をとるときは、別の部屋で、テーブルのある部屋で食べたいと思いました。1階で色々な高校の、パフォーマンスが見れたら良いと思いました。
このままで満足です！
予選のときのように本番のときのパフォーマンスに対する間奏がほしいです。(審査員の方やお客さん方から)
審査の基準をはっきりしてほしい。そうでないと公平じゃないような気がしたから
もっとしっかり点数を付けるべきだと思いました。
インターネットを使ってたくさんの人に来てもらう。(LINE非公式アカウント)など。弁当が小さい。もっと食べたかった。
参加した人全員にお菓子とか飲み物とかもらえたらうれしいです。
とても楽しかったので特に思いつく点はないです。
参加賞をほしい
参加賞がほしいです
吹奏楽のコンテストみたいに、金賞、銀賞、銅賞みたいにすればいいと思います。
参加したみんなにがんばった賞をあげる
参加チーム全チームに頑張った賞を与える
全チームにがんばったで賞がほしいです。
出場チームの高校名が入ったグッズがたくさん増えてほしいです！！
なるべく、下の方の階で見たいです。
生徒たちが見る席が遠いので、近くから見たい。
4階までの階段が長い
立食パーティーが長かった。
交流会の料理を高校生向けにしてほしい。
劇が有利？ばいかなーと思うところがあるので、もっといろんな部門で賞をつくってほしい。4F階段はすごかった・・・。
審査基準が分かりにくいので、部門分けをしてほしい(手話ダンス、手話歌、演劇など)入賞(8位)までステージで発表してほしい。順位を当日中に知りたい。
鳥取以外での開催を希望。立食ではなく座りたい。
8位まであってほしい。
様々な賞を用意してほしい(アイデア賞・・・など)
部門とかを作ってもっとフェアな審査にしてほしい。順位の発表をその日のうちにしてほしい。
練習場所をもう少し増やすか、他のチームと分けてほしい
部門別で試してみてもいい
交流会で座りたい。階段はやめてほしい。
会場で結果を知りたい
会場へ行くまでの階段が大変だった。
階段がきつい。
誰もが一緒に楽しめるように、選手が頑張ってもらいたい。
案内がほしい
すでに、良い大会なので何もありません！！あとは、1高1高が頑張るのみです！！
練習時間がもっとほしいです。
前日、リハーサルを長くしてほしいです。(時間を)
リハーサルが短い
案内が欲しい
とてもいいので、今のままでも大丈夫だと思います。

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果(生徒用)

この大会をもっと良い大会にしていけるためのアイデアや、改善して欲しい点があれば、是非教えて下さい。
今でもとてもいい大会なので、特にありません。
着替えなど、準備期間を増やしてほしいです。
幅の距離感がつかみずらかった。そして、残り何秒というランプをもう少し中央において、みんながみやすいようにしてほしい。
手話が少し小さくて分かりにくかったです。
いまのままでいい
いろいろ気を配ればよかったと思います。
とても良かったです！ピンバッジ買いました！
インタビュー時間をもっと長くしてほしい。せめて予定通りの質問をしていただきたかったです。
開会式の字幕で「障害」という表示になっていたのが気になりました。3年連続で出場でき、伝えたいメッセージを伝える場を設けてくださって本当にありがとうございます。
迫力
字幕を等一にしてほしいです。(字のサイズ、色)
はじまる時にブザーとかだけじゃなく、照明をパツパツつけてたり、消したりするとかしてほしいかなと思いました。
もっと楽しそうに演技する
階段長ーい！
かんよくしました
手すり演技が見えにくい
やりやすくてたのしかったです
インタビューの時間をもう少し長くしてほしい
開催する期間を夏休みにしてほしい。今の時期にやられると文化祭とかぶって練習があまりできない。
グッズの種類と量を増やしてほしい！
上からの席でも見やすかったです
ユニークな賞を増やしてほしいです。
発表の後のステージ上のインタビューの内容が全く違うものだったので、同じものにしてほしいです。
スタッフはできたら手話のできる人がいい
交流会の、立食形式をやめ、何席か椅子を用意して座れるようにしてほしいです。
手話パフォーマンス、演劇だけ、優勝だけではなく、手話の豊かさを大切さを伝えたいです。
学校間のレクリエーションがあるといいかも。(前回の立食会するとき)
改善な点はないですが、盛り上がる如果能够あれば、それでいいと思っています。
採点の点数の配分を同じにするべきだと思いました。
ろう者と健聴者の共存をより目指すために、審査の点数配分を等しくしてほしい。
宿の水準のを等しくしてほしい。
とくにありません。前日の交流会もたのしかったです。
毎年楽しみにしています。
1つのホテルを貸切して全チーム同じホテルにほしい。もっともっと交流をしたい。
ゲストパフォーマーの際、字幕が欲しいです。また、昨年のようにダンス等で会場全体で何かしたいです。舞台に近い席で見るか、スクリーンでアップで見えやすい方が良くと思いました。
大会の様子や大会じたい、テレビで流してほしいです。

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果(生徒用)

大会に参加してみて、これからやってみたいと思ったことや反省したことがあれば、教えて下さい。
この大会で手話をやめるのではなく、これからたくさんの手話を習いたい
日常の会話の手話や手話歌をこれからやってみたい。手話をするときにぎこちなくスムーズに手話ができなかった。
今回は、学校紹介だったので、今度は、うたやダンスをしてみたいです。
私がやってみたいと思ったことは、色々な学校との交流です。反省したことは、もっとステージを広く使ったらよかったなということです。
もっと手話を勉強して、言葉と同時に手話が自然と出てくるくらいまで上達したいと思いました。
大会に参加して終わりではなく、これからもっと手話について学び、活用をしたいと思いました。
今年で高校生活が終わり、手話パフォーマンス甲子園には出られなくなりますが、もっと手話を勉強し、日常生活でスラスラと使えるようになりたいです。
もっと手話に加えて表情を上手に出していけるようにしたいと思いました。この手話パフォーマンス甲子園に出ることを通して少しですが手話を知ることができたので、これをきっかけにもっと練習して聾の人と普通にコミュニケーション(会話)ができるくらい手話を使えるようになりたいと思いました。
今回、全ての力を出し切れたと思うので、そこまで反省はありません。
コントもやってみたい。もっと練習に参加すれば良かった。
初めて参加して、すごく緊張して不安だったけど、先輩達の支えで、いいかなと思いました。来年リベンジしてもっともっといい劇にしたいです。
練習不足だったと思った。
大会に参加してみて、あのステージに立たせていただいた事を本当に感謝しています。1500人の前でパフォーマンスをして、とても緊張しました。出場したみんなで伝えあえる喜び、分かりあえる喜びをしっかりと表現できたので良かったです。
手話をもっと学んで日常会話はスラスラ出来るようにしたいと思いました。
もっと手話を勉強してろう者の方々と話したいと思いました。
手話の表現をもっと分かりやすくすると伝えたい思いを表現したいです。
手話を続けていく。もっと表現力を豊かにすること。
もっと手話をうまくなりたい
手話を勉強したい。
やってみたいことは、三井高校のように全員参加型をやりたいです。
大泉桜高校・立川ろう学校のように合同チームとして参加したいと思いました。
いろいろな手話表現を知りたいと思いました。
もっと手話を練習したいと思いました。
少人数で、大きな動きを大切に劇やダンスをしたい。
手話をもっともっと学びたい。
笑顔でやることができたので反省はありません。
もっと手話について学びたいと思った。
日常でも手話を使えたらと思いました。
会話ができるようになりたい。
表情や表現を豊かにしなければいけないと思った。
貴重な体験をすることができて良かった。
課題研究が「手話」なので今回のことはぜひ伝えたい。
もう少し分かりやすく、ゆっくり手話をすればよかった。
手話は体全体でやりたいと思った。
もう少し手話をはっきりすればよかった。
もっと手話に表情をつけて表現したい。
手話の質を上げ、もっと動きがあるパフォーマンスをしたいと思った。個の力を高めるべきだった。
手話についてもう少し勉強してみたい
練習がたくさん必要だと思った。

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果(生徒用)

大会に参加してみて、これからやってみたいと思ったことや反省したことがあれば、教えて下さい。
単純に練習不足だったように感じました。
練習時間が圧倒的に少なかったので、練習時間を増やしていきたいです。
もっと、ろう者の方と交流したい。手話を勉強したい。
もっと大きく表現すること。
表現力
これからも、手話をもっと広め、全国で手話が大事にされるようにしたい。
手話を覚えたい。
立ち位置の細やかな所を確認することが必要。
劇をしてみたいです。
表情、表現力をもっとつけたい。
ろう学校に負けないくらいの演劇
もっと表現力をみがいて、手話をつづけていきたいです。
まだまだ手話ができているので、ろうの人とすらすら話せるようにしたい。
手話をもっと広めていきたいです。
新しいことに挑戦してみたい。
手話をもっと大きくしてほしい
もっと動きに感情をこめられるようにしたかったです。
コント劇
手話をもっと勉強したいと思う。
かんだ
将来も手話を使ってみたい
もっと難しい手話を学んでみたい
手話裏の時にもっと芦とか体も動かせたら良かったなと思いました。
もっともっとレベルを上げてがんばりたいです。会場の人も楽しめる事。
何にでも挑戦したい！
もうちょっと練習したらよかった
自分達の練習動画を毎日とり、もっと練習すれば良かった。
後輩たちには、松原高校が大切にしている「共に学び、共に生きる」を伝えて欲しいです。
ステージを全部使った動きのあるパフォーマンス
反省は緊張しすぎたこと
大きくハッキリとしたダンスを入れた手話歌
今回初めて劇に挑戦したので、もっともっといろんなことにチャレンジしたいです！劇初めてなんでやっぱり演技力が・・・。
大会に参加してみて、やってみたいと思ったことは、ダンスです。反省点は緊張したことです。
次は演技力を発揮するような劇。手話歌。
たのしかった。
大きくパフォーマンスして思いを伝えていきたい
大人数だからできることをしたいです。
踊りたい
もう少し速い段階から練習をしたいです。手話も少し勉強したい。
手話パフォーマンスの幅を広げたいと思った
自分達の普段の活動のことを発表に入れるのもいいなーと思いました。
ディズニー宿泊♪
スクリーン表現とかをもっと工夫すれば良かったと思う。(写真使うとか)

○第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 アンケート結果(生徒用)

大会に参加してみて、これからやってみたいと思ったことや反省したことがあれば、教えて下さい。
さらに演劇要素を取り入れていきたいです。
私達は早い曲ばかりやっていたので、ゆっくりな曲の手話ソングに挑戦したいと思いました！
もっと見ているみなさんが楽しく笑顔になってくれるようなものをやりたい。
もう少し他校の方とも話せたら良かったと思います。
他の学校のものをみてみてもっと本格的な劇もやってみたいと思った。
神奈川県にちなんだものを題に手話パフォーマンスをしてみたいです。
いろいろな場所で発表して、手話をしってもらいたいと思いました。
手話は表情が大切だということを改めて思いました。
後輩に優勝旗を手にさせたかったけれど、自分の力不足でサポートしきれなくてすごくやしかったです。
他の学校とたくさん話してみたいです。鳥取県についてもっと知りたいと思いました。
近くの高校と合同で、次回の大会へ出場すること。手話落語の技術のほうをもっともっと上げていかないといけないと思いました。
初出場で、優勝で、うれしかったです。でも、これは終わりではなく、また来年も参加したいので、手話の豊か、もっと磨いてがんばりたいです。発表のときは、聾だけ、伝わるだけでなく、健聴者にも伝わるようにがんばりたいです。
もっと練習して完成度を上げたかった。地域に拡げていきたい。
僕は、表情まだうまくいかない状況なので、反省しています。これからもうまくできるようにしたいです。
手話をもっと勉強し、日常会話できるぐらいまでにしたいです。この手話パフォーマンス甲子園に出場し、生で演技をみたり、ろうの方と交流し、そこから得られたものを活かしていきたいです。
日常会話ができるくらいまで、手話を学んだうえで大会に出るべきだと思いました。
顔の表情が足りていなかったことを反省しています。表情を含め、全身での表現がより豊かになるようにしたいです。
表情の重要性を実感しました。聾者の同年代の人と交流できて、もっと手話を学びたいくなりました。
もっと手話を勉強しないといけないと思いました。
体や顔すべてを使って大きく表現したい。
もっと手話を使ってコミュニケーションをとれるようになりたいと思った。
来年はこわさもなかったのしくえんぎしたいと思います。
手話でもっと会話をしたい。
大会前の交流会と大会後の交流会があってほしい。
また来年も出て次は優勝したい。
手話ソングだけでなく、手話を使った劇などやってみたいと思った。